

- (五) 規程違反ノ廢ヲ以テ組合員ヲ處分スヘキ懲戒例
 - (六) 頭取ノ組織其權利ノ範圍及執行ノ方法
 - (七) 組合會議ノ召集法投票權及議決法
 - (八) 組合會議及頭取會議ノ決議ノ通知法
 - (九) 規程變更ノ規約及方法
 - (十) 組合解散ノ規約及方法
 - (十一) 組合解散或ハ閉鎖ノ場合ニ於ケル組合財産ノ使用法
 - (十二) 歲計法及其檢査法
- 本法律中ニ掲ケタル組合ノ目的ト關係ヲ有セス或ハ法律ニ違背シタル規則ハ規程中ニ設クルコトヲ得ス
- 第九十七條(イ) 第四第五第六項ノ事項ニ關スル規則ハ組合規程中ニ編入スヘカラス
- 第九十八條(ロ) 組合ノ規程ハ該縣ノ高等行政廳ノ許可ヲ經ルヲ要ス但シ監視廳第四百四條ヲ經テ之ヲ差出スヘシ

左ノ場合ニ於テハ之ヲ許可セサルヘシ

- (一) 組合規程カ法律ノ成規ニ協ハサレ時
- (二) 組合規程中ニ載セタル方法コトハ第九十七條ニ記載シタル組合ノ目的ヲ達スルニ足ラスト認メタル時
- (三) 組合規程中ニ定メタル區域ニ關シ第九十八條第一項ニ從ヒ必要ナル中
 央官署ノ許可ヲ得サル時

其他組合規程中ニ載セタル區域内ニ於テ既ニ同職業ノ組合アル場合ニアラサレハ之ヲ許可セサルコトナシ

許可ヲ拒絕スル辭令書ニハ其理由ヲ記載スヘシ此ノ辭令ニ對シテハ控訴ヲ爲スコトヲ得ヘシ控訴廳及裁判法ハ各國政府ニ於テ特ニ行政裁判法ノ設ナクシハ第二十條及第二十一條ニ據ル

組合規程ヲ變更スルニモ亦此ノ規則ニ從フヘシ

第九十八條(ニ) 組合ニ於テ第九十七條(イ) 第四第五第六項ニ記載シタル制度ヲ設ケント欲スル時ハ副規程ヲ以テ其必要ナル規則ヲ定ムヘシ此等ノ規

則ハ第九十八條(ロ)ニ示定シタル高等行政廳ノ許可ヲ得ルヲ要ス該組合所
在地ノ町村廳ハ假令組合ノ監視廳ヲラサレモ高等行政廳ニ於テハ許可ヲ
與フル以前該町村廳ノ意見ヲ問ハサルヘカラス而シテ高等行政廳ハ其見
込ニ從ヒテ之ヲ許否スヘシ許可ヲ拒絕スルニハ其理由ヲ告クヘシ此ノ拒
絶ニ對スル訴願ハ四週日以内ニ中央官署ニ呈出スヘシ副規程ノ變更モ亦
此ノ規則ニ從フヲ要ス

第九十九條 組合ハ其名義ヲ以テ土地ヲ所有シ或ハ土地ニ屬スル權利ヲ
掌有シ裁判所ニ於テ原告或ハ被告トナルヲ得ル債主ニ對シテ債擔義務
ヲ帶フルモノハ組合ノ財産ニ限ルモノトス

第一百條 組合員タルヘキ者ハ組合區内ニ於テ獨立シテ該業ヲ營ム者及ヒ
該職業ニ關スル大製造所ノ工場或ハ之ニ類似シタル地位ヲ有スル者ニ限
ルヘシ他ハ名譽組合員トシテ加入セシムルヲ得
試驗ヲ行フテ組合ノ加入ヲ許スニハ其方法及範圍ヲ規程中ニ定メタル時
ニ限ルヘシ而シテ此試驗ハ唯該職業ノ通常ノ事務ヲ獨裁スルノ伎倆アル

ヤ否ヤヲ檢スルニ止マレヘシ

徒弟或ハ職工年限ヲ經過スルカ或ハ試驗ヲ經サレハ組合ニ加入スルヲ
許サレル時ハ規程ニ於テ確定シタル例外ノ場合ニ非サレハ他人ノ加入ヲ
許スヘカラス既ニ本法律ノ規則ニ適當スル該營業組合ノ試驗ニ合格シ
ル者ニシテ組合ニ加入セヨトテ求ムレハ再ヒ試驗ヲ行フヲ要セス
法律上及ヒ規程上ノ資格ニ合ヒタル營業者ヲ組合ニ加入セヨトテ望ムハ
之ヲ拒絕スヘカラス

法律上及ヒ規程上ノ規約ヲ枉ケテ一己人ニ私スルヲ得ス
公權利者中ノ者或ハ裁判所ノ命令ヲ以テ其財産ニ關スル權利ヲ制限セラ
レタル者ハ組合ニ加入スルヲ許サレヘシ

組合規程中豫メ退去ヲ通知スヘシトノ規則ナキ時ハ組合員ハ何時ニテモ
組合ヲ脱スルヲ得ヘシ

此通知ヲ需ムルノ期日ハ多クモ組合ヲ脱スルノ前六ヶ月ヲ限ルヘシ
組合ヲ脱シタル者ハ總テ組合ノ財産ニ關スル請求權且規程中ニ明條ナク

レハ組合ニ於テ設立セラル副金庫ニ對スル請求權ヲ失フヘシ而シテ其組合ヲ脱スルノ日既ニ確定セタル出金ヲ負擔スルノ義務アリ組合ニ對シテ生シタル所ノ特別ナル義務ハ規程ノ爲メニ變更スルコトナシ
投訴權及ヒ名譽權ヲ除クノ外組合員ノ權利ハ寡ト雖モ組合員タルノ義務ヲ果シテ營業ヲ繼續スル間ハ之ヲ執行スルコトヲ得ヘシ其詳細ノ規則ハ規程ヲ以テ之ヲ定ム

第百條(イ) 組合員ニ附屬スル職工カ組合ノ會議及ヒ事務上ニ參與スルコトヲ得ルハ規程中ニ定メタル場合ニ限ルヘシ則チ職工ノ試験及ヒ職工ノ出金或ハ特別監力ヲ以テ設置シ且維持スル所ノ場所及職工ノ扶助ニ關スルコト凡テ公權制奪中ノ者或ハ裁判所ノ命令ヲ以テ其財産ニ關スル權限ヲ制限セラレタル組合員ハ組合中ニ於テ投訴權或ハ名譽權ヲ執行スルコトヲ得ス
第百條(ロ) 毫モ組合ノ目的ト關係ヲ有セザル所ノ事件ニ擔任スヘキ義務ヲ組合員ニ負ハシムルコトヲ得ス
規程上或ハ法律上ニ定メタル組合ノ目的及ヒ組合ノ事務費ノ外ニ組合員

或ハ其職工ニ負擔金ヲ命ジ及ヒ組合ノ財産ヲ使用スルコトヲ得ス
組合規程或ハ副規程(第九十八條(ハ))ニ基キテ課賦セラル負擔金及ヒ附金ハ組合頭取ノ請求ニ從ヒ町村稅徵收ノ爲メニ各國ニ於テ定メタル法律ニ據リテ強徵スルコトヲ得負擔金ニ關スル爭議ハ法衙ノ裁判ヲ仰クコトヲ得ヘシト雖モ之レカ爲メニ強徵法ノ執行ヲ停止スルコトナシ
懲戒例ニ對スル訴願ハ監視廳ニ於テ終審ノ裁判ヲ爲ス

第百條(ハ) 第九十七條(イ)第五項ノ規則ニ基キテ設置セラル救助金庫ノ出納ハ特別ニ計算ヲ設クヘシ此金庫ニ專屬スル財産ハ他ノ組合財産ト管理ナシ異ニスヘシ此財産ハ他ノ目的ニ使用スルコトヲ得ス該金庫ノ債主ニ對スルノ義務ハ此ノ特別財産ヲ以テ負擔スヘシ
組合ノ疾病金庫ニシテ千八百七十六年四月七日ノ救助金庫條例ニ適應シタル救助ヲ行フモノハ次ノ規則ニ從フヘシ
(一)職工及ヒ徒弟ノ爲メニ金庫ノ掛金ヲ貸附スル處ノ棟梁ハ其掛金拂込ノ前後ノ給料ヲ以テ差引勘定ヲ爲スノ權利アリ

(二)金庫ノ救助ヲ受クヘキ權利ハ假令之ヲ他ニ讓渡シ或ハ抵當トスルモ法律上ノ効力ナク又沒收物ノ部類ニ加フヘカラス

(三)組合ノ金庫ニ加入スル間ハ其職工ニハ第四百四十一條(イ)ノ規則ニ基キテ義務ヲ負ハシムヘカラス

(四)既ニ救助金庫ニ加入シタル職工ニハ之ニ關係スル間ハ組合ノ救助金庫ニ加入スヘキヲ強制スヘカラス

第百條(三)第九十七條(イ)ノ規則ニ基キ組織シタル仲裁々判所ニハ次ノ規則ヲ用フヘシ

(一)仲裁々判所ハ少ナクモ議長一名及陪席者二名以上ヲ以テ組織スルヲ要ス陪席者ノ半數ハ組合員他ノ半數ハ職工タルヘシ前者ハ組合ノ會議或ハ組合員ノ代理者ニ於テ之ヲ撰舉ス後者ハ組合ニ屬スル職工或ハ其代理者ニ於テ之ヲ撰舉ス議長ハ監視廳ニ於テ之ヲ撰定ス必スモ該組合ニ屬スル者タルヲ要セス

(二)陪席者ノ撰ニ當リテ之ヲ辞退スルコトハ後見人ヲ辞退シ得ルト同一ナル

理由ナカラルヘカラス此理由ナクシテ陪席者タルヲ拒メハ監視廳ハ懲戒例ニ據リ強テ之ヲ承諾セシムルヲ得ヘシ

(三)陪席裁判ノ判決ニ對スル不服ハ第百二十條(イ)第二項ノ規則ニ從ヒ裁判所ニ控訴スルヲ得ル

第九十七條第四項及第九十七條(イ)第六項ノ規則ニ基キ組合員ト其職工徒弟トノ間ノ爭議ノ裁判ハ假リニ之ヲ執行スルヲ得此執行ハ裁判執行規則ニ從ヒ警察署ニ於テ之ヲ掌理ス徒弟ハ組合ノ仲裁々判ヨリノ請求ニ由リ警察署ノ命令ヲ以テ組合裁判ニ出頭セシメラルヘシ

第百條(ホ)徒弟教育ヲ以テ目的トスル所ノ組合區ノ爲メニ高等行政廳ハ監視廳ノ意見ヲ問ヒタル後次ノ事項ニ關スル規則ヲ設クルヲ得

(一)第百二十條(イ)ニ記載シタル種類ノ教授上ニ關係スル爭議ニシテ其爭議者ノ一方ヨリ該組合ノ仲裁々判ニ訴ヘ出ツル時ハ設ヒ其雇主ハ組合ニ加入セザリキ者ト雖モ該組合員ト同營業ニシテ組合員タルヲ得ヘキ資格ヲ有スル者ナル時ハ仲裁々判ヲ以テ右ノ爭議ヲ裁定セシムルヲ

○(二)徒弟ヲ管理シ教育シ及ヒ試験スルヲニ關スル組合ノ規則ヲ本條第一項ニ記載シタル雇主ノ徒弟ニ及ホサシムルヲ

組合ニ屬セサル營業者ノ徒弟ヲ試験セシムルカ爲メニ半數ヲ組合ヨリ他ノ半數ヲ監視廳ヨリ撰擧セタル委員會ヲ設ケルヲ

右ノ規則ハ時宜ニヨリ取消スルヲ得

第百一條 組合員ニ於テ數名ノ組合員ヲ撰擧シテ組合頭取員トナス(第九十八條(イ)第六項)最初組合ヲ設ケタル時及ヒ頭取ノ欠乏シタル時ニ之ヲ撰擧スルニハ監視廳ノ代理者ニ於テ撰擧事務ヲ掌理ス頭取ノ組織ヲ變更セ及ヒ頭取員ノ更迭アレハ一週日以内ニ之ヲ監視廳ニ届出ツヘシ
裁判所或ハ裁判所外ニ於ケル組合ノ商議ハ其頭取ニ於テ之ヲ代理ス此代理ノ權利ハ法律上全權代理ヲ要スル所ノ事務及ヒ訴訟ニ及フモノトス規程ニ基キ頭取員ノ一名或ハ數名ヲシテ組合ノ外交事務ヲ代理セシムルヲ得

凡テ裁判事件ニ關シ組合頭取タルヲ證スルニハ現任頭取ノ姓名ヲ記載シ

タル監視廳ノ證書ヲ以テスヘシ

第百二條 同監視廳下ニ在ル悉皆ノ組合若クハ數組合ノ爲メニ組合共同委員ナルモノヲ置クヲ得此ノ委員ハ共同ノ利益ニ關シテ諸組合ノ代理ニ任スルモノニシテ組合ノ財産上ニ涉ラサル權利義務ヲ委任セラル、トヲ得ルモノナリ

共同委員ヲ設ケルニハ關係組合ノ集會ヲ以テ制定スル所ノ規則ニ基クヘシ此ノ規則ハ高等行政廳ノ許可ヲ經ルヲ要ス若シ之ヲ許可セサレハ辭令書ニ其理由ヲ掲クヘシ許可ノ拒絕ニ對スル訴願ハ四週日以内ニ中央官署ニ呈出スヘシ該規則ノ變更モ亦此ノ規則ニ從フ

第百三條 組合ヲ閉鎖セシムルノ場合左ノ如シ

(一)第九十八條(ロ)ノ規則ニ基キ許可ヲ拒絕セサルヘカラサルモノニシテ指定シタル期限内ニ規程ノ必要ナル改正ヲ爲サ、ル時

(二)監視廳ヨリ再三督促スルニモ拘ハラヌ組合ニ於テ第九十七條ノ目的ヲ達スルヲ等閑ニスル時

(三)組合ノ行為法律ニ違背シ或ハ其業務ヲ等閑ニ附シテ公安ノ危殆ヲ招キ
或ハ法律上許可シタル目的ヨリ他ノ目的ヲ達セシムル時
共同委員會ヲ閉鎖スルハ委員會ニ於テ其規程ノ義務ヲ奉セス或ハ規則ヲ
以テ定メタル權利外ノ決議ヲ爲シタル時トス

此ノ閉鎖ハ高等行政廳ヨリ之ヲ命スヘシ
閉鎖ノ命令ニ對シテ再審ヲ請フヲ得ヘシ再審應及其裁判法ハ第九十八
條(ロ)ノ規則ニ從フ

法律上ノ財産處分ヲ受ケタル時ハ組合ノ閉鎖ハ之レニ伴フモノトス

第三百三條(イ)組合ヲ解散スルニ際リ組合ノ會議ニ於テ特異ナル決議ヲ爲サ
レハ其殘務ノ取極ハ監視廳ノ監視ヲ受ケ頭取員ニ於テ之ヲ行フヘシ頭
取員此ノ義務ヲ果スヲ能ハサルカ或ハ組合ノ閉鎖ヲ命セラレタル時ハ其
殘務取極ハ監視廳或ハ其委任ヲ受ケタル者ニ於テ之ヲ行フヘシ
組合ヲ解散シ或ハ閉鎖シタル後ト雖モ組合員ハ規則上其組合ヲ脱スルヲ
ヲ請求シタル場合ニ於テ負擔スヘキモノト同一ナル出金義務ヲ負フモノ

トス
組合ノ財産ヲ配當スルニハ第九十四條ノ組合ニ從ヒ各組合員カ實ニ出金
シタル總額ヨリ多クノ配當ヲ爲スヲ得ス

第三百四條 組合ハ町村廳ノ監視ヲ受クヘシ

位地ヲ市區内ニ設ケス或ハ數町村區ニ亘ル組合ハ高等行政廳ヲ以テ監視
廳トシ多クノ高等行政區ニ跨カル組合ハ中央官署ヲ以テ監視廳トス

監視廳ハ組合ノ役員組合員及職工輩カ能ク法律規則ヲ遵奉スルヤ否ヤニ
注目シ督促懲戒ノ法ヲ施行シ強制以テ法律規則ニ從ハシムルヲ得

監視廳ハ組合員ノ出入組合役員ノ撰舉及其權利義務ニ關スル爭議ヲ裁判
スルノ權利ヲ有ス

監視廳ハ各試験ニ一名ノ代理者ヲ派遣スルノ權利アリ又組合頭取ニ於テ
組合會議ヲ召集スルヲ肯シセサルニ際リ之ヲ召集スルヲ得

組合規則或ハ副規則第九十八條(ハ)ノ變更及組合解散ノ事ヲ議スル集會ノ
決議ハ監視廳ノ代理者陪席セサレハ其効力ナキモノトス監視廳ノ命令及

裁判ニ對スル訴訟ハ四週日以内ニ監視廳ヲ經由シテ其直接上班行政廳ニ呈スルヲ得ヘシ

以上ノ組合ハ共同委員ノ監視上ニモ亦應用ス

第一百四條(イ) 同一ノ監視廳ヲ頂カサル數組合ハ其共同目的ヲ達シ或ハ共同ノ利益ヲ養成センカ爲メニ組合聯合ヲ爲スヲ得

組合聯合中ニ加入スルニハ組合會議ノ決議ニ依ル

第一百四條(ロ) 組合聯合ノ爲メニ規程ヲ調製シ左ノ規則ヲ定メ置クヘシ

(イ) 組合聯合ノ名稱目的及區域

(ロ) 聯合中ニ加ハシ或ハ之ヲ脱スル規約

(ハ) 頭取員ノ組織職掌

(ニ) 組合聯合ノ代理及其職掌

(ホ) 組合聯合ノ出金及負擔

(ヘ) 規程變更ノ規約及方法

(ト) 組合聯合解散ノ規約及方法

規程中ニハ法律上組合聯合ニ許可シタル目的外ニ涉ルモノ或ハ法律ニ抵触シタル規則アルヘカラス

第一百四條(ハ) 組合聯合ノ規程ハ左ノ許可ヲ經ルヲ要ス

(イ) 一高等行政廳ノ管區外ニ互ラサル聯合ハ該官廳ノ許可ヲ受クヘシ

(ロ) 聯邦中ノ一國ノ數高等行政廳ノ管地ニ跨カル聯合ハ中央官署ノ許可ヲ受クヘシ

(ハ) 聯邦中ノ數國ノ領地ニ跨カル聯合ハ帝國大宰相ノ許可ヲ受クヘシ
許可ヲ拒絕スヘキ場合左ノ如シ

(一) 組合聯合ノ目的法律ノ範圍外ニ涉ル時

(二) 組合聯合ノ規程法律ノ成規ニ悽ハサル時

此ノ他組合聯合ノ力能ク其目的ヲ達スルニ足ラスト認定スル時ノ外ハ其許可ヲ拒絕スヘカラス

高等行政廳ニ於テ許可ヲ拒絕シタル時ハ訴訟ヲ爲スヲ得ヘシ
組合聯合規程ノ變更モ亦本條ノ規則ニ據ル

第四百四條(二) 組合聯合ノ頭取ハ毎年一月聯合組合表ヲ其所轄高等行政廳ニ差出スヘシ

頭取員ニ變更アル時モ亦高等行政廳ニ届出スヘシ頭取役所ノ位置ヲ轉シタル時モ亦然リ又他ノ高等行政廳ノ管下ニ移轉スルモノハ同時ニ新舊兩行政廳ニ届出ツヘシ

第四百四條(ホ) 組合聯合頭取及代理者ノ集會ハ組合聯合ノ區内ニ於テ之ヲ開クヘシ

右ノ集會ヲ開クニハ頭取役所ヲ置キタル土地及集會ヲ開ク土地ノ所轄高等行政廳ニ議題ヲ附シテ運クモ一週日以前ニ届出ヲ爲スヘシ該行政廳ハ左ノ權利ヲ有ス

(イ) 議題中組合聯合ノ目的ニ關係ヲ有セザルモノアレハ集會ヲ許可セザル

(ロ) 集會ニ代理者ヲ派遣シ其議事組合聯合ノ目的ニ關係ヲ有セザル事物ニ涉リ或ハ散唆煽動ノ罪ニ觸ル、建議ヲ携出スルヲアレハ集會ヲ解

散セシムルコト

第四百四條(イ) 組合聯合ノ頭取員ハ該聯合ノ職業ノ景況ニ關シ組合聯合規程ノ許可ヲ下附スル官署ニ報告建議ヲ爲スノ職權ヲ有ス

該頭取員ハ右ノ官署請求ニ由リ職業上ニ關スル意見ヲ呈スルノ義務アリ

第四百四條(ト) 組合聯合ヲ解散セシムルニハ左ノ如ク

(一) 第四百四條(ハ) 第一第二項ニ基キ許可ヲ拒絕セザルヘカラサルモ一定期日内ニ其規程中ノ必要ナル變更ヲ爲サズル時

(二) 第四百四條(ホ) ノ規則ニ基キタル命令ニ従ハサル時

(三) 組合聯合ノ頭取或ハ組合代理者ノ行為ニシテ公安ヲ害スヘキ法律上ノ弊ニ觸レ或ハ法律上ニ許シタルヨリ他ノ目的ヲ達セントスルニアル時此ノ解散ハ規程ヲ許可シタル官署ノ決議ヲ以テ之ヲ命ス

高等行政廳ノ決議ニ對シテ訴訟スルコトヲ許ス

第七章 工人職工助手徒弟及大製造場ノ職工

第二百五條 帝國ノ法律ヲ以テ定メタル制限ノ外總テ獨立營業者ト工人トノ

關係ヲ定ムルハ雙方ノ協議ニ任ス
營業者ハ工人ヲシテ日曜日及祝日ニ勞働スルノ義務ヲ負ハシムルヲ得
ス職業ノ性質上延引中止スルヲ得サルモノハ此ノ限リニアラス
何レノ日ヲ以テ祝日トスルヤハ其國ノ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第六六條 公權剝脱ヲ受ケタル營業者ハ其復權ヲ得ルマテハ年齡十八歳
以下ノ工人ヲ使用スルヲ得ス

此ノ禁制ヲ犯シタル時ハ警察ノ強制法ヲ以テ工人ヲ解散セシムヘシ

第六七條 法律上特ニ之ヲ許可セサル以上ハ年限二十一歳以下ノ者ハ工
程簿ヲ所持セザレハ工人トナリテ營業スルヲ得ス斯ノ如キ工人ヲ僱使
スル時ハ僱主ハ其工程簿ヲ査収シ官署ノ命ニ應ジテ之ヲ開示シ又解僱ノ
節之ヲ工人ニ返却スルノ義務アリ

小學校ニ通學スヘキ義務アル兒童ニハ前記ノ規則ヲ應用セス

第六八條 工程簿ハ工人カ最近ノ常住シタル土地ノ警察署ヨリ又從來
獨逸帝國內ニ常住シタルトナキ者ニハ獨逸帝國內ニ於テ始メテ職業ニ從

事スル土地ノ警察署ヨリ印税及手数料ヲ收ムルヲナク之レヲ下附スヘシ
工程簿ヲ下附スルニハ父親或ハ後見人ノ同意ヲ得ルヲ要ス父親ノ説明不
充分ナルカ或ハ理由ナクシテ父親ニ於テ漫リニ之レニ同意スルヲ拒メ
ハ町村應ハ其同意ヲ懇請スルヲ得ル而シテ工程簿ヲ下附スル以前既ニ
學齡ヲ經過シ又曾テ工程簿ヲ下附セラレタルトナキ旨ヲ證明セシムヘシ

第六九條 工程簿全ク填充シテ復タ記入スヘカラサルニ至リ或ハ之ヲ遺
失スレハ之レニ代ユルニ新工程簿ヲ以テス新工程簿ハ其所有主カ最後ニ
常住シタル土地ノ警察署ヨリ下附スヘシ填充シテ使用スヘカラサルニ至
リテハ工程簿ニハ官ノ消印ヲ捺スヘシ

填充シ或ハ遺失シタル工程簿ノ代リニ更ラニ下附シタル新工程簿ニハ右
ノ趣ヲ記載スヘシ此ノ場合ニ於テハ手数料トシテ五拾片ヲ納メシム

第七十條 工程簿第六八條ニハ工人ノ姓名住所年齡出生年月及署名ヲ配
入シ官印ヲ捺シ官名ヲ署ス該警察署ニ於テハ下附シタル工程簿表ヲ調製
シ置クヘシ

工程簿ノ様式ハ帝國大宰相ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第百十一條 債主ハ最初工人ヲ僱入ル、時其工程簿中特ニ設ケタル欄内

ニ僱入ノ時日業務ノ種類ヲ記入シ又僱入期限ヲ經過シタル時ハ其解僱ノ時日及若シ其間ニ業務ヲ變更シタル時ハ其最後ニ從事シタル業務ヲ記入スヘシ

工程簿ニ記入スルニハ墨汁ヲ用ヒ且債主之レニ署名スヘシ工程簿ニ業務ノ種類ヲ記載スルニ其實ヲ以テセスレテ其所有主ニ不當ノ損害ヲ與フヘカラズ

工人ノ勤惰巧拙ニ關スル評論其他本法律ニ載セサル備考等ヲ工程簿ノ表面域ハ内部ニ登記スルヲ許サズ

第百十二條 債主ニ於テ其工人ノ工程簿ヲ破損シ遺失シ或ハ之レニ法律上許ササル所ノ記入ヲ爲シ又ハ正當ノ理由ナクシテ其返却ヲ肯シセサル時ハ工人ハ債主ノ費用ヲ以テ新工程簿ヲ得ルヲ請求スルノ權利アリ法律上ノ義務ニ背キ定時ニ工程簿ヲ返却セズ或ハ其記入ヲ怠リ又ハ法律

上ニ許ササル記入ヲ爲シタル時ハ債主ハ工人ニ對シテ損害ヲ賠償スルノ義務アリ然レド工人ニ於テ一週日以内ニ抗拒或ハ訴訟ヲ以テ損害賠償ヲ請求セザレハ其請求權ハ消滅スルモノトス

第百十三條 職業場ヲ去ルニ臨ミ工人ハ其就業ノ種類及年月ヲ記載セル證書ヲ請求スルヲ得

此ノ證書ニハ工人ノ望ミニ應ジ其勤怠巧拙ヲモ記載スルヲ得

第百十四條 工人ノ請求アレハ地方警察署ハ其工程簿及印税及手数料ヲシテ其經歷證書ヲ證明スヘシ

第百十五條 營業者ハ其工人ノ給料ヲ帝國ノ正貨ニテ拂渡スノ義務アリ營業者ハ決シテ其工人ニ物品ヲ販賣スルヲ得ス然レド買入代價ヲ以テ工人ニ飲食品ヲ供給シ或ハ居室薪炭耕地常病治療藥劑及該職業用ノ器械物質ヲ供給スルハ此ノ限リニアラス是等ノ費用ハ其賃銀ノ差引勘定ニ加フルヲ得ヘシ

第百十六條 第百十五條ノ規則ニ背キタル賃銀ヲ受ケタル工人ハ何時ニ

ヲモ第百十五條ニ基キタル賃銀ヲ得ンヲ請求シ得ヘシ而シテ其初メニ得タルモノハ之ヲ返還スルヲ要セス之ヲ該工人ノ關係スル救助金庫ニ納メ此ノ如キ金庫ナケレハ町村廳ヨリ指定スル其地ノ工人ノ便益ヲ謀ル所ノ金庫ニ納メ是モ亦欠乏スレハ其他ノ救済金庫ニ納ムヘシ

第百十七條 第百十五條ノ規則ニ反對シタル契約ハ無効トス

營業者ト其工人トノ間ニ於ケル工人ノ需用品ヲ或ル賣場ヨリ借來ラシムルヲ其他總テ工人及其家眷ノ地位ヲ進捗スルヲニ關係ナキ目的ニ工人ノ賃銀ヲ使用スルノ契約モ亦然リ

第百十八條 第百十五條ノ規則ニ背キテ販賣シタル物品ノ代價ハ其直接ニ生ラサルモノト間接ニ生ラサルモノトヲ論ヒス債主ニ於テ請求レ或ハ差引勘定ヲ爲スヲ得ス此ノ代價ハ第百十六條ニ記載シタル金庫ニ納ムルムヘキモノトス

第百十九條 第百十五條乃至第百十八條ニ謂フ所ノ營業者ト其家眷助手、委任者、事務員、幹事及職業上右等ノ者ト直接ノ關係ヲ有スル者トハ同一ニ

見做スヘシ

第百十五條乃至第百十八條ニ載セタル工人トハ營業者ノ工場外ニ於テ其工業品ノ製造ニ従事スル者ヲモ併セ稱スルモノトス

第百二十條 年。齡。十。八。歳。以。下。ノ。工。人。ノ。就。業。ニ。關。シ。工。業。主。ハ。幼。工。ニ。必。用。ナ。ル。衛。生。及。風。俗。上。特。別。ナ。ル。注。意。ヲ。爲。ス。ノ。義。務。アリ

工業主ハ町村廳或ハ政府ヨリ補修學校ト認定セラレタル學校ニ通學スル十八年以下ノ工人ヲシテ所轄官署ヨリ指定スル時間ニ該學校ニ通學スルヲ得セシムヘシ十八年以下ノ工人ハ補修學校ニ通學スルノ義務ヲ有セシムルヲ得其國ノ法律上此ノ如キ義務ナケレハ地方規程(第百四十二條)ヲ以テ之ヲ設クルヲ得

工業主ハ又工業及工場ノ性質上生命健康ヲ保護スルニ必要ナル構造ヲ設ケ且之ヲ維持スルノ義務アリ何等ノ工場ニハ何等ノ構造ヲ要スルヤハ聯邦參議院ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム參議院ノ裁定シタル規則ナキモノハ其國ノ法律ヲ以テ定メタル所轄官署ニ於テ必要ナル規則ヲ設クルヲ得

第二百十條(イ) 獨立營業者ト其工人トノ間ニ生シタル爭議ニシテ其傭入傭
 續解傭交互ノ義務工程簿或ハ證書ノ授受ニ關スルモノハ此等ノ爭議ヲ調
 理スヘキ特別ノ官署ニ於テ之ヲ裁判スヘシ
 特別官署ノ設ケナキ時ハ町村廳ニ於テ之ヲ裁判ス右ノ裁判ニ對シテハ十
 日以内ニ法庭ニ訴フルコトヲ得然レモ此ノ控訴ヲナシタルカ爲メニ前裁
 判ノ執行ヲ停止スルコトナシ地方規程(第四百二十二條)ヲ以テ此ノ特別官署ニ
 代ユルニ仲裁々判ヲ以テスルコトヲ得仲裁々判ハ町村廳ニ於テ傭主及工人
 ノ同數ヲ召集シテ組織スルモノトス

(貳) 職工及助手

第二百十一條 職工及助手ハ傭主ノ命令ニ應ジ其委託セラレタル業務及
 家中ノ設置ニ從事スルノ義務アリ然レモ傭主ノ家事ニ關スル業務ニ束縛
 セラレサルモノトス

第二百十二條 職工及助手ト傭主トノ間ニ特約ナキ以上ハ十四日以前ニ
 豫メ通知シテ雙方隨意ニ解雇スルコトヲ得ヘシ

第二百十三條 左ノ場合ニ於テハ契約期限前ニシテ且豫メ通知セキルモ
 職工及助手ヲ解雇スルコトヲ得ヘシ

- (一) 傭入契約ヲ結テ際傭主ニ示スニ工程簿或ハ證據類ノ偽物或ハ贋造物ヲ
 以テシ或ハ尙ホ他ニ就業ノ義務アルコトヲ隱匿シタル時
- (二) 竊盜掠取詐欺ノ罪ヲ犯シ或ハ放蕩無賴ヲ極ムル者
- (三) 權利ナシニテ工事ヲ放擲シ或ハ其他契約上ノ義務ヲ果スコトヲ肯ンセキ
 時
- (四) 人ノ勸告アルヲ顧ミス火ヲ取扱フニ戒慎ヲ加ヘサル時
- (五) 傭主及代理者或ハ其家族ニ對シ暴行罵詈ノ罪ヲ犯シタル時
- (六) 規則限ハ法律ニ背キテ物件ヲ破壊シ傭主或ハ同工ニ損害ヲ被ラシメタ
 ル時
- (七) 傭主或ハ代理者ノ家族ヲ誘惑シテ法律ヲ犯シ或ハ風俗ヲ破ルノ行爲ヲ
 シタル時
- (八) 業務ヲ繼續スルコト能ハス或ハ惡疾ニ罹リタル時

第一項乃至第七項ノ場合ハ僱主ニ於テ其事情ヲ知ルモ一週日以上之ヲ放
任シタル時ハ復テ職工助手ヲ解僱スルノ權利ヲ失フモノトス
第八項ノ場合ニ於テハ解僱セラレタル者カ賠償ヲ得ルト否トハ其契約及
一般ノ法律ニ從ヒテ判定スヘシ

第二百二十四條 左ノ場合ニ於テハ契約期限前ニシテ且豫メ通知セサルモ
職工及助手ニ於テ工事ヲ放擲スルヲ得

(一)業務ヲ繼續シ能ハサルニ至リシ時

(二)僱主或ハ其代理者カ工人或ハ工人ノ家族ニ暴行罵詈ヲ加ヘタル時

(三)僱主或ハ代理者或ハ其家族カ工人或ハ其家族ヲ誘惑シテ法律或ハ風俗
ヲ破ルノ行爲ヲ行フメタル時

(四)僱主カ契約ノ賃銀ヲ拂渡サヌ又法律ニ背キタル不當ノ私利ヲ貪リタル
時

(五)契約ヲ結ブノ際工人之ヲ知了セザリシモ尙ホ業務ヲ繼續スレハ之レカ
爲メニ其生命及健康ヲ危殆ニスルモノアル時

第二項第三項ノ場合ニ於テ其行爲アリシ後一週日ヲ經過スレハ工人ハ工
事ヲ擲棄スルノ權利ヲ失却スルモノトス

第二百二十五條

他ノ工場ニ從事スル職工或ハ助手ヲシテ其僱入契約ノ期
限前ニ工事ヲ擲棄スルヲ誘勸シテ自家ニ僱入レタル僱主ハ舊僱主ニ對
シテ之レカ爲メニ生シタル損害ノ賠償ヲ該工人ト共ニ負擔スルノ義務ア
リ現ニ他ノ工場ニ從事スル者タルヲ知リテ之ヲ僱入レ或ハ使用スル工
業主モ亦同一ナル義務ヲ負フヘシ

(參) 徒第

第二百二十六條

工師ハ其職業中ニ生スル諸般ノ技藝ヲ徒弟ニ授クルニ教
育上緊要ナル順序ト範圍トヲ以テスルノ義務アリ工師ハ自カラ徒弟ヲ教
育シ或ハ教育專任代理者ニ委託ス工師ハ徒弟ノ教育上或ハ養神上ニ必要
ナル日曜及祝日ノ時間ヲ奪ヒテ之ヲ他ニ使用セシムルヲ得ス其他工師
ハ徒弟ノ勤惰品行ニ注意シ放逸ヲ防カサルヘカラス

第二百二十七條

徒第ハ工師ヲ父トシテ其育成ニ從フヘシ

工師ニ代リテ其教育ヲ掌トル者ニ對シテモ亦從順テ致スノ義務アリ

第二百二十八條

師弟ノ關係ハ特別ノ契約ヲ以テ試教期限ヲ定メザル時ハ授業ヲ始メタル後四週日以内ニ互ニ一方ノ意見ヲ以テ之ヲ解シ得

シ試教期限ヲ三ヶ月以上トスルノ契約ハ無効ニ屬ス

試教期限後ハ徒弟ニ於テハ第二百二十三條ニ編ル、トアレハ教授年限内ト

雖モ教授ヲ拒絕セザルヘシ

左ノ場合ニ於テハ徒弟ノ方ヨリ受教ヲ謝絶スルコトヲ得

(一)第二百二十四條第一項乃至第五項ノ場合ニ接シタル時

(二)工師カ徒弟ノ衛生修身或ハ教授上ノ義務ヲ放棄シ或ハ師弟ノ權利ヲ誤

用シ或ハ契約ノ義務ヲ盡キタル時

教授ノ契約ハ徒弟ノ死亡ト共ニ消滅スルモノトス工師ノ死去シタル時ハ

四週日以内ニ解約ノ手續ヲ了シタル時ハ契約ノ消滅シタルモノト見做ス

ヘシ

第二百二十九條

教授年限ヲ經過スレハ工師ハ其徒弟ノ從事シタル職業修

業年數及其間ニ習得シタル智識伎倆又品行ヲモ記載シタル證書ヲ徒弟ニ附與スヘシ此ノ證書ニハ印税及手数料ヲ収メヌシテ町村廳ヨリ證明ヲ爲スヘシ

同業者ノ組合或ハ總代ヲ設ケタル土地ニ於テハ此ノ證書ノ代リニ組合若クハ總代ヨリ免狀ヲ渡スコトヲ得

第三百十條

法律上ノ成規ナキ場合ニ於テ工師ノ同意ヲ得シテ徒弟其

教場ヲ去レハ師弟ノ契約書アルモノハ工師ヨリ其復歸セシメテ警察署ニ

請求スルヲ得ル警察署ハ工師ノ請求ニ由リ徒弟ニ命ジテ裁判所ヨリ師弟

ノ契約無効ニ歸セリトノ判決アルマテ工師ノ教授ヲ受ケシムヘシ徒弟ノ

教場ヲ去リタル後一週日以上ヲ經過スレハ工師ハ此ノ請求權ヲ失フモノ

トス徒弟若シ之ヲ抗拒スレハ警察署ハ強制法ヲ用ヒ或ハ五拾馬克以下ノ

罰金若クハ十五日以内ノ拘留ヲ以テ其復歸ヲ督促スヘシ

第三百十一條

徒弟ノ父若クハ後見人ヨリ又徒弟丁年ニ達スレハ徒弟ヨ

リ他ノ職業ニ轉セント欲スル旨ヲ記載シタル書ヲ出セハ其後四週日ヲ經

テ師弟ノ關係ハ消滅スルモノトス工師ハ解約ノ理由ヲ該徒弟ノ工程簿ニ記入スヘシ

解約後一ヶ月間ハ該徒弟ハ舊工師ノ承諾ヲ經スレテ他ノ工業主ニ就キ同職業ニ従事スルヲ得ス

第三百二十二條 契約ノ教授年限内ニ師弟ノ關係消滅セタル場合ニ於テ工師若シクハ徒弟ヨリ損害ノ賠償ヲ請求スルハ契約書アルノ時ニ限ルヘシ
第二百二十八條第一項及第四項ノ場合ニ於ケル契約中ニ賠償ノ種類及金額ヲ増定セラル時ニ限ルヘシ

師弟ノ關係ヲ解キタル後四週日以内ニ訴訟或ハ抗拒ヲ爲サレハ賠償ノ請求權ハ消滅スルモノトス

第三百二十三條 徒弟カ濫リニ修業ヲ怠リタルノ故ヲ以テ工師ヨリ師弟ノ關係ヲ解クニ際リ契約上特ニ定額ヲ設ケタル時ハ工師ノ請求スル賠償額ハ解約ノ翌日ヨリ教授年限ノ終マテ(然レモ六ヶ月ヨリ久シカラサルヘカラス)該職業ニ従事スル職工若クハ助手ノ地方普通ノ賃銀ノ半額タルヘシ

徒弟ヨリ賠償金ヲ出ス時ハ其父及他人ノ徒弟ヲ誘惑シテ其放場ヲ去ラシメ或ハ他人ノ徒弟タルヲ知リテ之ヲ己レノ工場ニ入ラシメタル工業主ハ連帶義務ヲ負フヘシ此ノ賠償請求權ヲ有スル者師弟ノ關係ヲ解キタル後十ニ至リテ他ニ徒弟ヲ誘惑シ或ハ情ヲ知リテ己レノ放場ニ入ラシメタル者アルヲ知レハ四週日以内ニ之ヲ請求スヘシ然ラサレハ其權利ハ消滅スルモノトス

(肆) 大製造場ノ職工

第三百二十四條 大製造場ニ従事スル職工ニハ第二百一十一條乃至第二百一十五條ノ規則ヲ應用シ又徒弟トナリテ大製造場ニ在ル者ニハ第二百二十六條乃至第三百三十三條ノ規則ヲ應用スヘシ

第三百三十五條 滿十二年以下ノ小兒ハ大製造場ニ於テ業務ニ就クヲ得ス

滿十四年以下ノ兒童ノ就業ハ毎日十二時間ヲ超過スヘカラス
小學校ニ通學スルノ義務アル子弟ハ小學校或ハ學務監督局ノ許可ヲ受ケ

ル學校及學務監督局ノ許可ヲ受ケタル教師ヲ奉スル教場ニ於テ日常寫
ナシモ三時間ノ教授ヲ受クル者ニアラザレハ大製造ニ從事スルヲ許サ
ス
滿十四年乃至十六年ノ幼工ハ一日十時間以上大製造場ニ從事スルヲ得
ス

産婦ハ分娩後三週日ハ職業ニ就クヲ得ス

第三百三十六條

幼工(第三百三十五條)ノ就業時間ハ午前五時半以前ニ始メ或
ハ午後八時半以後ニ到ラシムヘカラス就業ノ間ニハ毎日休憩時間ヲ定メ
置クヘシ兒童ノ休憩時間ハ毎時三十分間トシ滿十四年乃至十六年ノ幼工
ハ午後一時間午前及午後ニ各半時間休憩スヘシ

休憩時間ニハ幼工ヲシテ全ク製造場ノ業務ヲ執ラシムヘカラス受持幼工
悉皆ノ休憩時間コアラザレハ休憩中ノ幼工ハ工場内ニ在ルヲ得ス

日曜日祝日其他カテヒスメーサノ「コンツェルマンゾ」(バイヒト)「コンム」
ノ(共ニ耶蘇)ノ説教ニ定マラザル時間ニハ幼工ヲシテ業務ニ就カシムヘ

カラス

第三百三十七條

備主ニ於テ限メ就業鑑札ヲ落手セサレハ兒童ヲシテ製造
場ノ職務ニ從事セシムルヲ得ス滿十四年乃至十六年ノ幼工ニシテ尙ホ
小學校ニ通學スルノ義務アル者モ亦然シ此ノ就業鑑札ヲ有スレハ工程簿
ヲ所持スルヲ要セス

就業鑑札ハ父親或ハ後見人ノ請求或ハ承諾アレハ地方警察署ヨリ手数料
及印税ヲ徴セシメテ之ヲ下附スヘシ父親ノ説明不充分ナレハ町村廳ニ於
テ之ヲ補充スヘシ此ノ鑑札ニハ兒童ノ姓名出生年月宗旨及父親若クハ後
見人ノ姓名職業住所ヲ記載シ且教育義務ヲ果スカ爲メニ通學スル所ノ學
校ヲモ記載スヘシ

備主ハ就業鑑札ヲ預リ置キ官吏ノ請求ニ由リ何時ニテモ之ヲ示スヘシ其
備ヲ解キタル時ハ之ヲ父親若クハ後見人ニ返附ス此ノ鑑札ハ父親ノ居所
不明ナル時ハ母親或ハ最近親戚ニ下附スヘシ

第三百三十八條

幼工ヲシテ大製造場ノ業務ニ從事セシメント欲スレハ備

主ハ豫ノ地方警察署ニ届書ヲ出サハカラス

此ノ届書中ニハ大製造場ノ種類毎週ノ營業日就業時間ノ始終休憩時間及就業ノ種類ヲ記載スヘシ工人欠乏シテ之ヲ補充スル時ノ外豫ノ警察署ニ届出スシテ右等ノ關係ヲ變更スルコトヲ得ス

各製造場ニ於テハ衛主タル者ハ其幼工ノ從事スル工場中最見易キ所ニ約工表ヲ掲ケテ其營業日就業時間ノ始終及休憩時間ヲ記載シ置クヘシ又別ニ中央官署ヨリ指定スル離形ニ倣ヒ幼工ノ就役ニ關スル規則ヲ拔萃シテ明瞭ニ記載シタル額面ヲ掲ケ置クヘシ

第三百二十九條 天災或ハ災難ノ爲メニ製造場ノ業務ヲ中止シタル時ハ高等行政廳ヨリ四週日以内第三百三十五條第二乃至第四項及第三百三十六條ノ制限ヲ解クコトヲ得ヘシ四週日以上ニ亘ル時ハ帝國大宰相ノ特許ヲ請求スヘシ危急ナル場合ニ於テハ其災害ヲ防禦スル爲メニ地方警察署ヨリ例外トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ然レモ十四日以上ニ亘ルコトヲ得

ル時ハ休憩時間ニ關係スルモノハ高等行政廳ニ其他ハ帝國大宰相ノ特許ヲ請フヘシ要スルニ少クモ全一時間連續スル休憩時間ヲ與ヘサレハ幼工ノ就業時間ハ毎日六時間ヨリ多カルヘカラス

第三百十九條(イ) 聯邦參議院ノ決議ヲ以テ特ニ衛生及風俗上ノ危害ヲ有

スル職業ニハ幼工及女子ノ從事スルコトヲ禁シ或ハ特別ノ規則ヲ守ラシムルコトヲ得ル殊ニ或ル職業上ニハ女子ノ夜業ヲ禁スルコトヲ得

聯邦參議院ノ決議ヲ以テ紡績所及絶エス火氣ヲ使用シ或ハ晝夜兼業ヲ要シ或ハ又一定期内ノミ營業スル所ノ製造場ノ爲メニ第三百三十五條第二乃至第四項及第三百三十六條ノ制限ヲ解クコトヲ得ル斯ノ如キ工場ト雖モ工人毎週ノ就業時間ハ兒童三十六時間幼工六十時間紡績所ナレハ六十六時間ヲ超過スヘカラス

聯邦參議院ノ決議ヲ以テ定メタル規則ハ次回ノ帝國々會ニ報告スヘシ帝國々會ニ於テ請求スレハ此等ノ規則ハ廢止セシムヘキモノトス

第三百二十九條(ロ) 第三百三十五條乃至第三百三十九條(イ)及第二百二十條第三項ノ規則ノ實行ニ關スル監視ハ所轄警察署ニ於テ之ヲ掌トリ或ハ警察署ノ傍ヲ政府ヨリ特ニ之レカ官吏ヲ任命シテ之ヲ監視セム該官吏ハ其監視ヲ執行スルニ際リ警察署ノ職權殊ニ何時ニテモ工業場檢査ヲ行フノ權利ヲ有ス

該官吏ト警察署トノ權限ニ關スル規則ハ聯邦各國ノ政府ニ於テ之ヲ制定スヘシ

該官吏ハ其職務ニ關スル年報ヲ其政府ニ差出スヘシ此ノ年報或ハ其拔萃書ハ聯邦參議院及帝國々會ニ呈出スヘシ

聯邦各國ノ政府ノ請求ニ由リ全ク工業場ヲキカ或ハ之アルモ微々タル地方ニ於テハ聯邦參議院ノ決議ヲ以テ右ノ特別官吏ヲ置カサルヲ得

第三百三十五條乃至第三百三十九條(イ)及第二百二十條第三項ノ規則ヲ遵奉スルヤ否ヤヲ調査スルカ爲メニ政府ヨリ工場檢査ヲ施行スルハ何時ニテモ(夜間ト雖モ)營業中ハ工業主之ヲ承諾セサルヲ得ス

第八章 工業救濟金庫

第四百十條 地方規程或ハ行政廳ノ命令ヲ以テ獨立工業者ヲシテ其組合ニ附屬シ或ハ組合外ニ設立シタル疾病救助吊死等ノ爲メニ設ケタル金庫組合ニ加入スルノ義務ヲ負ハシムルノ制度ハ本法律ヲ以テ廢止セシム其他此等ノ金庫ニ關スル規則ハ本法律ノ爲メニ變更スルヲ得

獨立工業者カ右等ノ目的ヲ以テ設立シタル金庫ハ高等行政廳ノ許可ヲ經テ法人ノ資格ヲ得ヘシ但此ノ權利ヲ得ルニ政府ノ特別ナル許可ヲ要スルノ時ニ限ル

第四百十一條 千八百七十六年四月七日ノ法律ニ基キ職工助手及大製造場ノ工人ヲ保護スルカ爲メニ地方規程ヲ以テ救助金庫ヲ設置セシムルヲ得

此ノ場合ニ於テハ町村廳ハ該法律ニ依リ關係者ト協議シテ金庫設置ノ事ヲ幹旋シ其管理法ヲ制定スルノ威權ヲ有ス

第四百十一條(イ) 地方規程ヲ以テ滿十六年以上ノ職工助手及大製造場ノ工

人ヲレテ町村廳ノ命令ヲ以テ設置シタル金庫組合ニ加入スルノ義務ヲ負
ハシムルヲ得

此ノ金庫組合ニ加入スルノ義務ハ既ニ他ノ救助金庫ニ加入シ居ル者ニハ
之ヲ負ハシメス

第四百四十一條(ロ) 各國ノ法律ニ基キタル町村廳ノ命令ニ應シ疾病救助ノ目
的ヲ以テ常時掛金ヲ爲ス職工助手及大製造場ノ工人ニハ地方規程ヲ以テ
救助金庫ニ加入スルノ義務ヲ負ハシムルヲ得ス

第九章 地方規程

第四百四十二條 地方規程ハ其法律上允准委託セラレタル營業事件ニ義務
ヲ負ハシムルヲ得ル地方規程ハ町村廳ニ於テ關係營業者ト協議シ町村
決議ノ法ニ由リテ之ヲ制定シ高等行政廳ノ許可ヲ要スルモノトス
中央官署ハ法律ニ抵觸スル地方規程ヲ廢止セシムルノ權利ヲ有ス

第十章 罰則

第四百四十三條 帝國ノ法律ヲ以テ確定セラレタル場合ノ外營業ノ權利ハ法

官及行政官ノ裁決ヲ以テ剝脱スルヲ得ス

税法上ニ基キタル特別ノ規則ハ其税法ノ現行セラレ、間ハ効力ヲ有スル
モノトス

行政ノ處分ヲ以テ帝國內ニ於テ印刷物ヲ發見シ及販賣スルノ權利ヲ剝脱
スニキ聯邦各國ノ法律ハ本法律ヲ以テ廢止セシム

第四百四十四條 營業權剝脱(第四百四十三條)ニ關スル規則ヲ除キ本法律ニ揭
載セル場合ノ外營業者カ其義務ニ違背シタルト否トヲ定ムルハ各其現行
ノ法律ニ從フ(獨逸刑法第二百二十二條第二百三十條第二百三十二條第二
百六十六條第三項第二百九十七條第二百九十八條第二百九十九條第三百
第三百六十條第一第七第九第十二項第三百六十七條第三第五第七第九第
十五項)及第三百六十九條

第四百四十五條 刑ノ最輕度罰金ト拘留トノ比例及第四百四十六條第五百十
三條ニ載セタル犯罪ノ期滿得免ハ獨逸帝國ノ刑法ニ據ル

其他本章ニ於テ罪科ニ處スル所ノ行爲ハ其當日ヨリ起算シテ滿三ヶ月ニ

シテ期滿得免ニ達フモノトス

第四百十六條 二千馬克以下ノ罰金ヲ科シ其資力ナキ時ハ六ヶ月以内ノ禁錮ニ處スル者左ノ如シ

(一) 工人ノ賃銀ヲ仕拂或ハ工人ニ物品ヲ賣渡スコトニ關シテ第百十五條ノ規則ニ背キタル營業者

(二) 第百三十五條第百三十六條及第百三十九條第百三十九條(イ)ノ規則ニ基キタル命令ニ背キテ工女幼工ニ業務ヲ執ラセタレ營業者

(三) 第百十一條ノ規則ニ背キ工程簿所有主ニ私シ或ハ之ヲ害スルノ目的ヲ以テ不當ノ登記ヲ爲シタル營業者

(四) 第五十六條第六項ノ規則ニ違背シタル者

罰金ハ總テ第百十六條ニ掲ケタル金庫ノ所有ニ歸セシム

第四百十七條 三百馬克以下ノ罰金ヲ科シ其資力ナキ時ハ拘留ニ處スル者ノ左ノ如シ

(一) 豫メ特別ナル警察ノ許可ヲ經テ開業スヘキ營業場ノ所有主ニシテ成規

ノ許可ヲ經スルヲ開業シ營業ヲ繼續シ或ハ許可書中ニ指定シタル規約ニ背キタル者

(二) 營業場ノ位地或ハ性質ノ關係ヨリ特別ナル許可ヲ經ルヲ要スルモノヲ

許可ナクシテ設置シ或ハ許可書中ノ主要ナル規約ヲ奉ヒス或ハ更ラニ

許可ヲ受ケスルヲ營業場ヲ改造シ或ハ移轉シ又營業法ヲ變更シタル者

(三) 免許ヲ受ケタルコトヲ自カラ醫師(外科醫、眼科醫、産科醫、齒科醫、獸醫)

ト稱シ或ハ類似ノ名稱ヲ用ヒ人ヲシテ眞ニ免許ヲ得タル醫家タルヘシ

ト信セシムル者

(四) 官署ノ督促ヲ顧ミス第百二十條ノ規則ニ違背スル者

右ノ犯罪ニシテ同時ニ税法犯罪ニ涉ルモノアル時ハ右ノ外尙ホ税法ニ關

スル罪ニ處スヘシ此ノ際刑ノ酌量ニ注意スヘシ

第二項ノ場合ニ於テハ警察署ハ場所ヲ取除キ或ハ規約ニ適當セル裝置ヲ設

クヘキコトヲ命令スヘシ

第四百十八條 百五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ資力ナキ時ハ四週日以内ノ

- 拘留ニ處スヘキ者左ノ如シ
- (一) 第四百十七條ニ掲ケタル場合ノ外成規ノ届出ヲ爲サスルテ常營業ヲ開キタル者
- (二) 第十四條ニ基キ火災保險會社ノ代理店トナリタル届出ヲ爲サ、ル者
- (三) 第十四條ニ基キ營業場ノ届出ヲ爲サ、ル者
- (四) 第三十五條ニ基キタル營業禁止ノ命令ニ背キ或ハ第卅五條ノ届出ヲ爲サ、ル者
- (五) 第四百十六條第一項ノ場合ノ外第三十三條(ロ)及第四十二條(イ)乃至第四十四條(イ)ノ規則ヲ犯シ及許可狀第四十四條(イ)或ハ徘徊營業證第五十五條ヲ他人ニ貸渡シタル者
- (六) 許可狀徘徊營業證或ハ第六十二條ニ載セタル自己若クハ其同伴者ノ許可狀ヲ得ルノ目的ヲ以テ故意ニ不正ノ申出ヲ爲シタル者
- (七) 法律上必要ナル徘徊營業證ヲ所持セスルテ徘徊營業ヲナシ第五十九條(イ)ノ規則ニ從ヒ拒絕セラレタルニ拘ハラヌ第五十九條第一乃至第三項

ノ職業ヲ營ミタル者

- (七)(イ) 第五十六條(イ)或ハ第五十六條(ロ)ノ規則ニ背キタル者
- (七)(ロ) 第五十六條(ハ)第六十條(イ)第六十條(ロ)第二項或ハ第六十條(ハ)第二項及ヒ第三項ニ背キタル者
- (七)(ハ) 第六十條第一項第六十條(ロ)第一項或ハ第六十條(ロ)第三項ノ規則ニ背キ徘徊營業證ニ載セタル制限ヲ犯シタル者
- (七)(ニ) 徘徊シテ職業ヲ營ムニ際シ營業上ノ目的ヲ以テ十四歳以下ノ小兒ヲ携帯シタル者
- (七)(ホ) 徘徊營業ニ關シ第五十六條(ニ)ノ規則ニ基キ聯邦參議院ヨリ發布シタル規則ニ違背シタル外國人
- (八) 政府ヨリ指定シ或ハ許可シタル定價ヲ超過シタル者
- (九) 委任セラレタル徒弟ニ對シ法律上ノ義務ヲ傷リタル者
- (十) 第三百三十一條第二項ノ規則ニ背キ事實ヲ知テ其徒弟ヲ養ヒ或ハ第百條(ホ)第二項ノ規則ニ違背シタル者

凡テ此ノ場合ニ於テハ本罪ノ外刑法ニ觸ル、者ハ刑法ヲ以テ其罪ヲ問ハルヘシ

第四百二十九條 三十馬克以下ノ罰金ヲ科シ其資力ナキ場合ニ於テハ八日以内ノ拘留ニ處スル者左ノ如シ

(一)第四十二條(ロ)ニ載セタル許可狀或ハ第四十三條ニ載セタル許可狀ヲ携帶セスレテ職業ヲ營ミ或ハ第四十四條(イ)第二項ニ背キタル者

(二)第五十六條ノ最後ノ規則或ハ第六十條(一)第一項ノ規則ニ背キテ徘徊營業ヲ行ヒタル者

(三)一定ノ區域内ニ於テ營業スヘキ許可ヲ得タル徘徊營業證ヲ携帶シテ他ノ區内ニ入りテ獵リニ營業スル者

(四)徘徊營業證ニ記載セタル物品ヲ販賣シ或ハ技藝ヲ賣ル者

(五)徘徊營業ノ際獵リニ他人ヲ同伴シ或ハ夫婦親子或ハ叔姪ノ關係ナキ者ヲ携帶スル者

(六)市場警察ノ規則ニ背キタル者

(七)第三百三十八條及ヒ第三百三十九條(ロ)ノ規則ニ基キ負擔セシメラレタル義務ヲ放任スル者

(八)或ル組合ニ加入スルコトヲシテ其組合員ナリト僞稱スル者

法律或ハ規程ヲ以テ定メタル如ク組合ノ關係ヲ官署ニ届出ルコトヲ怠リ或ハ告グルニ實ヲ以テサリシ時ハ該組合或ハ組合聯合ノ頭取員モ亦同罪ニ處ス

凡テ此場合ニ於テハ本罪ノ外刑法ニ觸ル、者ハ刑法ヲ以テ其罪ヲ問ハルヘシ

第四百五十條 左ノ規則ニ觸レタル者ハ其都度二十馬克以下ノ罰金ヲ科シ資力ナキ場合ニ於テハ三日以内ノ拘留ニ處ス

(一)第四百六條乃至第四百十二條ノ規則ニ背キ職工ヲ雇入タル者

(二)第四百十六條第三項ノ場合ノ外工程簿及就業鑑札ノ規則ヲ犯シタル者

(三)自己ノ名義ヲ以テ受取リタル工程簿ヲ故意ヲ以テ損傷シ或ハ消滅スル者

第五百十一條

營業者ノ代理者ニ於テ其營業上警察ノ規則ニ背キタル時

ハ其罪ハ代理者ニ歸ス然レハ代理ヲ委託シタル者モ亦豫メ之ヲ知リタル時ハ兩人共ニ其罰ヲ受クヘシ此等ノ犯罪ニシテ免許許可或ハ委任ノ消滅ト相伴フ時ハ代理者カ犯シタル罪ト雖モ代理ヲ委任シタル者ニ於テ豫メ之ヲ知リタル時ハ亦此等ノ權利ヲ失却スヘシ

代理ヲ委託シタル者若シ之ヲ知ラサル時ハ其代理ノ委任ヲ解クヘシ然ラサレハ又此權利ヲ剝脱セラルヘシ

第五百十二條

營業者職工助手或ハ大製造場ノ工人ノ賃銀及就業ノ約定

ニ關スル悉皆ノ禁制及ヒ罰則殊ニ罷工或ハ職工ノ解雇ニ關スル規則ハ凡テ廢止ス

若シ右等ノ契約アレハ双方各此約ヲ解クコトヲ得ヘシ此解約ニ對シテ訴訟或ハ抗論ヲナスコトヲ得ス

第五百十三條

他人ノ身体ヲ束縛シ或ハ強制法ヲ行ヒ右ノ如キ契約(第百

五十二條)ヲ結ハシメントシ或ハ強制法ヲ以テ斯ノ如キ契約ヲ解クコトヲ妨

クル者ハ普通刑法ニ於テ更テ重キ罪ニ處セサル者ハ三ヶ月以内ノ禁錮ニ處ス

終結

第五百十四條

第五百五條乃至第三百三十三條ノ規則ハ製藥舖及ヒ商估ノ助

手及ヒ徒弟ニ應用セス

第三百三十四條乃至第三百三十九條(ロ)ノ規則ハ常ニ蒸氣力ヲ使用スル所ノ工

場ノ所有主及職工其他冶金場造船場ニ應用ス

第三百十五條乃至第三百十九條(イ)第三百三十五條乃至第三百卅九條(ロ)第三百五十二條

及ヒ第三百五十三條ノ規則ハ礦山製鹽場製礦場及地下ノ石切場ノ所有主及

ヒ職工ニ應用ス

本條第三項ノ工場ニ於テハ日中ト雖モ工女ノ就業ヲ許サス此規則ヲ犯シ

タル者ハ第四百四十六條ノ罰ニ處ス

第五百十五條

本法律ニ於テ各國ノ法律ト稱スルモノハ其憲法ニ基キテ

發布シタル勅令或ハ法律ヲ云フ

本法律ニ云フ所ノ高等行政廳下等行政廳町村廳警察署地方警察署等ノ諸官衙ハ聯邦各國ニ於ケル何等ノ官衙ヲ指スヤハ聯邦各國ノ中央政府ヨリ布達スヘシ

ニ依ラサルベカラス而シテ職業條例ハ全ク職業自由ノ原則ニ基キタルモノナリ然レモ亦實際止ムヲ得サルノ關係ヨリシテ政府ハ種々ノ制限ヲ設サルヲ得サルノ場合ニ至リテ現今ノ職業政略上多ク之ヲ見ル然レモ素ト職業ノ自由ヲ得セシムルノ主義ナルカ故ニ職業條例ハ營業上市在ノ別ヲ廢シ同時ニ數業ヲ爲スヲ禁スルノ制ヲ解キ同業強制ノ規則其他職工ノ試験義務ヲ除キ總テ工業家ノ特權ヲ廢シ再ヒ之ヲ設クルヲ禁シタリ要スルニ納税關稅郵便ノ諸規則或ハ他ノ危險ヲ防禦スルカ爲メニ必要ナル場合ヲ除クノ外職業條例ハ各個人ノ營業ニ干渉セサルモノトス此ノ他警察上職業ヲ制限スルハ一定ノ場合ニ限ルモノナリ法律上職業ヲ制限スルハ即職業警察ノ問題ニ屬ス而シテ此ノ警察規

則ハ家ニ居テ營業スルモノト諸方ヲ徘徊シテ營業スル者トニ從ヒテ同ノカラス此ノ他政府ハ同業組合ヲ組織スルヲ勸奨シ職工ノ保護ニ注意シ且一般ノ工業振興ヲ勉ムルヲ左ノ如シ

(一) 職業警察

總テ一所ニ職業ヲ開ク者ハ必ス最初ニ其營業場所ヲ該町村廳ニ届ケ出スヘシ若シ許可ヲ經テ開業スルヲ要スルモノニシテ其許可ヲ經スシテ開業シタル時ハ警察上ニ於テ之ヲ差留ルヲ得右ノ如キ許可ヲ與フルト否トハ營業場所ノ位置性質及營業者ノ人物如何ニ由ル即左ノ如シ

營業場所ノ位置ニ關スル制限

(二) 近隣或ハ公衆ノ爲メニ著シキ不利益損害或ハ危險ヲ及スノ恐アル工場ハ先ツ警察上ノ検査ヲ爲シ關係人ノ不承諾ニ係ル爭議ヲ裁決サレタルノ後ニアラサレハ之ヲ設置スルヲ得ス此ノ爭議ヲ裁決スルハ通常郡(府)委員一二ノ場合ニ於テハ縣委員

其他ハ縣廳ノ意見ニ從フモノトス

- (二) 汽鍋ヲ使用スル工業ニ於テハ關係者ノ承諾ヲ經ルヲ要セザレド汽鍋使用規則ヲ遵奉シ尙ホ其開業以前ニ更テニ其筋ノ檢査ヲ受クヘシ字國ニ於テハ尙ホ定期ノ汽鍋檢査ヲ執行シ又汽鍋檢査ノ目的ヲ以テ汽鍋檢査協會ナルモノヲ組織シ現ニ千八百八十五年ノ調査ニ依ルニ此ノ如キ協會二十一アリ此ノ協會ニ加入シタルモノハ政府ニ於テ確實ナリト見認ル時ハ政府ノ檢査ヲ受クルヲ免除スヘシ千八百八十五年一月一日字國汽鍋ノ總數ハ靜止汽鍋四万四千四百二十一臺移動汽鍋九千九百九十一臺靜止蒸氣機械三万八千八百三十臺船舶汽鍋一千二百一十一臺ナリ
- (三) 異常ナル響聲ヲ發スル工場ハ寺院學校公ケノ建物病院療治場ノ近傍ニ設置スルヲ拒絕セラル
- (四) 風車ヲ設置スルニハ警察ノ規則ニ從ヒ隣人ノ所有地及公道ヲ

距ルヲ一定ノ距離以外ニ於テスヘシ

- (五) 公安上著大ナル危險損害ノ恐アル時ハ何等ノ工場ト雖モ其損失ヲ全償シテ之ヲ撤去セシムルヲ得

各職業家カ其性格ニ關シテ得ルモノヲ免許ト云ヒ他ヲ許可ト云フ一
 二ノ職業ニ對シテハ官廳ハ一定ノ規約ニ基キ禁止權或ハ任命權ヲ有
 ス又一部分ノ取締ヲ爲スモノアリ至ク之ヲ放任スルモノアリ即チ左
 ノ如シ

- (一) 免許ヲ經テ開業スヘキ職業ハ醫師航海者及水先案内トス而シテ水先案内者及產婆ヲ除クノ外其認許狀ハ全帝國ニ向ヒテ効力ヲ有スルモノナリ故ニ内國ニ於テ隨所ニ營業スルヲ得ヘシ賭博打モ亦然シ
- (二) 許可ヲ經テ開業スルヲ要スルモノハ私立ニ係ル病院分娩場及狂癡院劇場トス
- (三) 此ノ他旅店及料理家又燒酎小賣店(即居酒屋等ノ營業者ニシテ

耽醉ヲ勸メ禁制ノ遊戯ヲ爲シ隱匿淫褻ノ媒ヲナスノ恐アル時
 或ハ其位置警察上ノ規則ニ協ハサル時ハ營業ヲ許サス凡ソ人
 口一万五千ニ達セサル場所ニ於テハ燒酎小賣店料理店及旅店
 ナ地方廳ニ於テ必要ナラスト見做シタル時ハ其開業ヲ許可セ
 フレサレトアリ燒酎トハ總テ蒸餾シテ製造シタル酒精ヲ含有
 シタル飲料ニシテ他液ト混淆シタルモノナモ亦總稱シタルモ
 ノナリ右ト同様ナル許可ヲ要スル職業ハ美術若クハ學術上ニ
 効能ナキ唱歌演劇觀物場ノ營業トス家毎ニ徘徊シ或ハ市街路
 傍ニ於テ音曲技藝ヲ賣ル者ハ其地方警察署ノ許可ヲ受クルヲ
 要ス
 質商及毒藥商モ亦許可ヲ受ケテ開業スルヲ要ス
 爆○裂○藥○ヲ製造シ使用シ販賣シ或ハ外國ヨリ購求スル者ハ必ス
 許可ヲ經且其明細帳簿ヲ調製スヘシ而シテ此ノ許可ハ都合ニ
 ヨリ取消サル、トアルヘシ

(三)

踏舞、体操、沐浴、教場及浴場ヲ營業セント欲スル者ニシテ其業
 ニ任スルニ堪ヘサル時ハ之ヲ許可セシ古物買屑買代書人、不動
 產買賣、金銀貸借及結婚ノ媒介、傭人受宿、競賣營業者モ亦然シ
 右ノ古物買以下ノ營業ハ特別ナル警察ノ監視ヲ受ケ質營業モ
 亦警察ノ取締ヲ受クルノミナラス利子ノ歩合、質物及其賣却方
 ニ關スル權利等ニ關シ特別ナル規則アリ

(四)

土地丈量家、競賣者及金銀物品ノ分量性質ノ鑑定ヲ以テ職業ト
 スル者ハ憲法ニ從ヒ其權利ヲ有スル官衙若クハ社會ノ任職ニ
 應ジテ其職務ヲ執行セサルヘカテナルノ義務アリ官衙若クハ
 社會ヨリシテ官ヘハ之ヲ任命權ト云フ而シテ此ノ任命セラレ
 タル者ノ行爲ニハ特別ナル信認ヲ置キ且特別ナル法律上ノ効
 力ヲ有セシムルモノトス

(五)

總テ路上營業(役夫御者等)ハ其地ノ警察ノ取締ヲ受クヘキモノ
 トス

凡ソ常職業ヲ營ム者ハ職工、徒弟、傭夫其他代理人ヲ置クコトヲ得唯代理人ハ各職業ニ就キテ定メタル代理人タルノ資格ヲ具ヘサルヘカラス

徘徊營業

居住町村外ニ於テ別ニ營業場ヲ有セス豫メ注文ヲ受ケスレテ物品ヲ販賣シ或ハ轉賣ノ爲メニ購求シ物品ノ注文ヲ受ケンコトヲ求メ人ノ使役ニ應ジ或ハ學術上及美術上ノ効能ナキ音曲技藝ヲ賣ル者又遞舖ヲ張リテ物品ヲ販賣スル者ヲ徘徊營業者ト云フ此等ノ職業者ハ徘徊營業證ヲ得ルヲ要ス而シテ其人物ト物品トノ性質ニ從ヒテ此ノ營業ヲ許否セラル營業證ハ其許可ヲ得タル本人ニ限り一曆年度効力ヲ有スルモノトス此ノ營業證ヲ携帶スレハ獨逸全國中何レノ所ニ於テモ營業スルコトヲ得ヘト雖モ豫メ承諾ヲ得スレテ他人ノ居宅ニ入り或ハ夜間其家屋及園地内ニ入ルコトヲ得ス又音曲技藝ヲ演シテ職業トスル者ニハ其人口ニ比較シテ既ニ充分ナル營業者アレハ復々之ヲ許可セ

サル地方アリ且ツ此ノ營業ハ地方警察署ノ許可ヲ得テ音曲技藝ヲ演スヘキモノトス自家ニテ収得シタル農林ノ生産物蠶漁ノ獲物及毎週市普通ノ製造品ハ住所ヲ距ルコト拾五キロメーター以内ノ土地ニ於テ販賣スルモ徘徊營業證ヲ要セス徘徊營業證ヲ所持スルモ各國ノ法律ヲ以テ定メタル税金ヲ拂フノ義務アリ
戸毎ニ徘徊シテ物品ヲ販賣シ或ハ音曲技藝ヲ演スル者ハ課税的及警察的ノ監督ヲ受クヘシ斯ル營業ヲ制限スルハ公安及風俗上ノ注意ニ出タルモノニシテ常營業者トノ競争ヲ防クノ主意ニアラサルナリ

(二)同業組合

職業條例ニ於テハ在來ノ同業組合ヲ繼續シ又新組合ヲ組織スルコトヲ許シタルニ從前ノ如ク公權的ノ性質ヲ帶ハシメス全ク私立ノ組合トナセリ職業條例ハ營業ノ束縛ヲ解キタルト同時ニ其支柱ヲモ除キタルノ憾ナキコト能ハス此ノ支柱即チ保護ナルモノハ現時ノ需要上殊ニ大製造家ニ對スル小工業家ノ競争上必要ナレハナリ工業上ノ利益、職

工ノ風俗經濟、徒弟ノ教育ヲ進捗スル等ノ爲メニ種々ノ同業組合ヲ設
立シテ此等ノ組合ハ法人ノ性格ヲ具ヘ有限責任ヲ有シ組合員ノ出
金ヲ強徴スルヲ得

三三工人

諸工場ニ從事スル工人ハ勞役社會ノ多數ヲ占ムルモノトス從テ其經
濟就役等ニ關スル種々ノ規則アリ故舉ニ暇アラス附錄職業條例ヲ參
照シテ可ナリ
職工、助手及徒弟ノ就役ノ關係ハ其教育ノ點及工業ノ性質ヨリ自
カラ他ノ大製造場ニ從事スル職工ノ就役ト異ナラサルヘカラス故ニ
其規則ヲ同フセサルモノ多シ
總テ工人社會カ賃銀ノ増加ヲ目的トシテ共同罷工スルノ禁ヲ解キ唯
強迫徒黨ノ行爲ニ涉ルヨリ禁スルノミ職工就役時間ノ關係ハ其僱主
トノ隨意ノ契約ニ任スト雖モ僱主ハ之レニ日曜日就役ノ義務ヲ負ハ
シムルヲ得ス又公權剝脱中ノ者ハ十八年以下ノ幼工ヲ僱使スルヲ

欠

MISSING

施行ノ其費用ヲ義務者ヨリ追徴ス其他道路築造維持費用負擔等ニ關
シ二週日以内ニ故障ヲ申出ル者アレハ警察署ハ必用ナル説明ヲ與ヘ
テ此ノ故障ノ理非ヲ裁定スヘシ此裁定ニ對シテハ行政ノ裁判ヲ仰ク
ルヲ許ス
凡テ道路ヲ保護スルカ爲メニ之ヲ破壊シ損害シ或ハ通行ヲ妨碍ス
ルヲ禁制スヘキ規則アリ之レヲ犯セハ刑法ニ問ハル又工道及街衢
ニハ警察ノ特別ナル取締規則アリ荷物ノ運搬ヲ營業トスル者ノ車輪
ノ厚サハ其積荷ノ重量ト一定ノ比例ヲ保ツベシ車輪或ハ蹄鉄ニ突起
物ヲ裝スルヲ禁シ積荷ノ幅ニ制限ヲ設ケ非常ニ降雪多キ時ハ土地
ノ住民ハ其土地普通ノ賃銀ヲ以テ堆雪取片附ヲ扶助スルノ義務アル
カ如キ是レナリ又工道警察規則ハ工道監督官之ヲ監視ス
路上警察ハ道路警察ト同カラス職トシテ繁華ナル市街ノ雜沓ヲ制シ
テ通行人ノ便ヲ計リ且ツ治安風俗及衛生上ニ注意スルモノナリ

(三) 鐵道

鐵道ハ今ヲ距ルテ僅カニ三十ヶ年以前ニ起リシモノニシテ最初半國ノ鐵道ハ悉ク民間ノ企業ニシテ政府ハ之ヲ許可シ監視スルモ特ニ警察取締上ノ目的ニ止マリタルモノナリ然ルニ鐵道ノ布設日ニ益々多ク交通上欠クヘカラサルノ要具トナルニ至リ政府ハ始メテ鐵道企業ヲ獎勵スルニ保助金或ハ利子ノ保證ヲ以テテ遂ニ千八百五十年自カラ企業者ノ位地ニ立テ鐵道ヲ布設セリ故ニ當時ハ官有鐵道トシテ混シタル組織ナリシカ近時官有鐵道主義ヲ取り政府ハ總テ主要ナル線路ヲ買上ケケリ斯ノ如ク鐵道ヲ買上ケタルヲ以テ政府ノ所有物ノ増加シタルト同時ニ公債モ亦頗ル増加シ政府ノ歲計上非常ノ過不足ヲ生スルノ憂ヲ豫防センカ爲メニ總テ鐵道ノ利益金中ヨリ先ツ鐵道公債ノ利子ヲ引去リ然ル後貳百二十馬克ヲ預備金ニ積立殘額ヲ以テ鐵道公債總額一萬分ノ七十五ヲ消却シ尙ホ殘額アレハ之ヲ政府ノ貸入中ニ編入スルモノトス鐵道運輸ニ關係ナ有スルテ多キ者ノ便益ヲ謀ルカ爲メニ鐵道監督局ノ商議機關トシテ商業會議所員及農業協會員等

ノ中ヨリ總代ヲ撰舉セシメ縣鐵道委員會ナルモノヲ置ク其各國ノ首府ニ置キタルモノヲ某國鐵道委員會ト云フ亦右等ノ經濟協會員ヲ以テ組織シタルモノトス
 官有鐵道主義ハ其財政上及國權上注意ヲ要スルモノ頗ル多シ鐵道ノ規模漸次ニ盛大ヲ要スルノ今日ニ在リテハ私有鐵道ニテハ充分ニ公益ノ目的ヲ達スルヲ能ハサルノ恐アルノミナラス鐵道ヲ布設シ且營業スルニハ主トシテ交通ト護國トハ便利ニ基カサルヘカラサルカ故ニ或ハ迂回シタル線路ヲ布ク等種々ノ制限ヲ設ケ單ニ收利ノ多少ニヨリ從フテ能ハサルカ爲メニ鐵道會社ハ大ニ其營業ノ自由ヲ妨ケラレ、ノ不便アリ又甲ノ會社ニ於テハ丙所ト丁所トヲ接續スル線路ヲ有シ乙ノ會社ニ於テハ戊所ト己所トヲ接續スル線路ヲ有スルニ過キカリシ時代ニ在リテハ私有鐵道モ亦互ニ成立シテ掣肘セラル、トナリテ小數ノ大會社トナレリ故ニ他ノ大會社ノ競争ナクシテハ其地方運

輸ノ利潤ヲ專有スルノ傾ヲ生スルハ自然ノ數ナリ此專有ノ弊モ亦察セサル一カラス官有鐵道ニモ亦此ノ弊ヲ生スヘキヲ恐ル、者アリト雖此政府ハ直接ニ鐵道營業ノ利潤ヲ得ント欲スルニアラズ一般ノ富賑ヲ致シテ間接ニ納稅力ノ増加スルヲ待ツモノナレハ決シテ要トスルニ足ラサルモノ、如シ要スルニ私有鐵道主義カ官有鐵道主義ニ凌駕セラレタルハ鐵道營業ノ利益カ交通ノ利益ニ步ヲ譲リタルモノト云フモ可ナリ殊ニ副線路ノ如キハ比較的ニ利益薄シ且本線ノ運轉ニ照應シテ營業セサルヲ得サルカ爲メニ私有ニ屬セシムルハ不適當ナリトス故ニ政府ハ自カラ副線ヲ布設シ或ハ私立會社ニ保助金ヲ與ヘテ其交通ヲ保護ス

李國ノ鐵道ノ延長里數ハ千八百四十四年ニハ僅カニ八百六十一「キロメートル」ニ過キサリシカ漸次ニ増加シテ千八百五十年ニハ二千八百四十六「キロメートル」千八百六十年ニハ五千五百五十八「キロメートル」千八百七十年ニハ一萬四千四十「キロメートル」千八百八十年ニハ二萬「キロメートル」ニ達シタリ、云フ故ニ十ヶ年毎ニ凡ソ二倍シタルノ割合ナリ又李國ノ官有鐵道ハ千八百七十九年ニハ僅カニ六千七十八「キロメートル」ナリシカ千八百八十四年迄ニハ大ニ諸會社ノ線路ヲ買上ケタルヲ以テ増加シテ二萬三千三百十三「キロメートル」トナレリ又政府ノ管理スル私有鐵道ノ延長里數ハ二千四百四十「キロメートル」ナリシ鐵道ノ管理上ニハ帝國政府ニ於テ掌トルモノト聯邦各國ノ政府ニ於テ任スルモノトアリ

帝國政府ハ護國上及交通上ノ利便ニ關スル法律ヲ發布シ自カラ鐵道ヲ布設シ或ハ鐵道ノ布設ヲ許否シ營業上運賃定額ニ干渉スルノ權利ヲ有ス此ノ權利ヲ執行スルハ帝國大宰相ノ直轄スル帝國鐵道院ナリ李國ニ於テハ其官有鐵道ノ増加シタルカ爲メニ其管理上大ニ改革シタルモノアリ工部省中ヨリ分離シテ商工務省ヲ置キタル以來官有鐵道ノ政務ハ工部省第二局ニ於テ掌理シ私有鐵道ノ監督ハ第四局ニ於テ擔任ス鐵道會社ノ理財及營業事務ヲ監視スル所ノ伯林鐵道委員會

ハ即第四局ニ附属スルモノナリ鐵道監督局及鐵道局ノ掌理スル官有鐵道ノ管理法ハ官有鐵道ノ増加スルニ從ヒテ集權主義ヲ脱シテ分權主義ニ移ルノ傾向アリ工部大臣ハ一般ノ利害ニ關係スル事件ヲ裁定スルニ過キス監督局ハ官有鐵道ノ事務ヲ監督シ運賃表及運車費着表ヲ制定シ且鐵道官吏ヲ懲戒スルノ衙門ナリ鐵道事務官ハ鐵道ノ工事營業及鐵道警察ノ事務ヲ擔任ス

鐵道官吏ニ對シテハ普通官吏ノ服務規率ノ外任命法試驗法等種々ノ特別ナル規則アリ

字國ノ鐵道條例ハ當初合本會社ニテ鐵道ヲ布設スルニ對シテ設ケタル者ナリ然ルニ政府或ハ一個人ニ於テモ亦之ヲ布設スルノ今日ニ在リテハ不完全ナル所ナキニ非ス鐵道條例ノ大要ヲ舉レハ左ノ如シ

鐵道布設ヲ許否スルハ交通上ノ利害得失及企業者ノ實力如何ニ由ル鐵道ノ布設ハ國王ノ勅許ヲ請ヒ實行上ノ細則ハ所轄省ノ許可ヲ經ヘシ、資金額ヲ確定シテ合本會社ヲ設立シタル後トニアラザレハ其許可

ヲ與フルヲナシ鐵道會社ノ規程ハ國王ノ認可ヲ得ルヲ要ス鐵道會社ハ集合体トシテ土地ヲ所有シ必要ナル場合ニ於テハ土地公用買上ヲ請求スルヲ得ル其所有地ヲ賣却シ負債ヲ起シ又資金ヲ追募スルハ所轄省ノ許可ヲ受シム布設後三十ケ年間ハ地ニ競争線トナルヘキモノヲ布設セシメサルヘントノ政府ノ約束ヲ廢止セリ然レモ既往ノ約束ハ之ヲ取消スルヲナシ許可ヲ得タル以上ハ會社ハ其期日ヲ違ヘス且命令ノ如クニ鐵道ヲ布設シ且維持セサルヘカラス會社ハ近隣ノ地主ノ損害ヲ豫防スルノ裝置ヲ設ケ凡テ該鐵道ヲ布設シタルカ爲メニ起リタル賠償ノ責ニ任セサルヘカラス又戰爭ノ爲メニ損害ヲ被ムルヲアルモ會社ハ其賠償ヲ請求スルヲ得ス私有鐵道ハ税金ヲ拂ヒ且郵便物ヲ送致スルノ義務アリ布設後三十ケ年ヲ經過スレハ政府ハ私有鐵道ヲ買上ルノ權利アリ會社若シ其義務ヲ果スル能ハサレハ許可ヲ取消シ鐵道ヲ公賣ニ附セラルヘモノトス

鐵道營業法ハ字國ニ於テハ工部大臣ノ指令ニ從フ然ルニ一般ノ交通

ノ便益ヲ謀ルカ爲メニ聯邦各國ノ鐵道線路ヲ通シテ一大線網ト見做
 ヲ同一ナル原則ニ基キテ營業シ運賃表發着時間表ハ勿論警察規則等
 ナ蓄一ニシテ鐵道ノ營業ヲ開クニハ其以前鐵道檢査ヲ受ケ工部大
 臣ノ許可ヲ經タル後タルヘシ
 鐵道警察ハ鐵道事務官ニ於テ執行ス其規則ニ依レハ鐵道ニ接シテ家
 屋ヲ建築シ或ハ木材等ヲ堆積スルニハ必ス一定ノ距離以外ニ於テセ
 サルヘカラス又鐵道ノ布設ニ從事スル工夫ノ靜穩秩序ヲ維持セシム
 ルハ最其注意スル所ナリ被害者自己ノ過失ニアラスシテ汽車ノ爲メ
 ニ負傷シ或ハ死亡シタル者アル時ハ會社ハ其責任ヲ帶フヘキモノト
 ス
 鐵道會社ハ全ク私立ノ集合体ニシテ政府ヨリ發布シタル鐵道營業規
 則及運賃規則ヲ奉シ他ハ商業律ニ遵フヘキモノトス
 汽車運賃ハ物貨ノ配布殊ニ内地貿易ニ重大ナル關係ヲ有スルモノナ
 ルカ故ニ最モ注意シテ之ヲ定メサルヘカラス要スルニ可及的低廉平

等ナルヲ要スルノミナラス農工上必需ノ物品ニシテ重量ノ巨大ナル
 煤炭、鑛石、肥料等ヲ遠隔ノ地ニ致シ或ハ凶歲穀畜ノ輸送陸軍ニ關スル
 運搬等ハ極メテ廉價ヲ以テセシム

(四)郵便電信

從前獨逸各國ノ郵便電信ノ制度ハ頗ル區々ナリシカ今ヤ之ヲ總括シ
 テ帝國政府ノ掌理スル所トナレヨ一ツハ其制度ヲ書一ニシ一ツハ帝
 國政府ノ財源トナシタルニアリ千八百八十五年乃至六年度ノ純益金
 無慮二千七百萬馬克ナリト謂フ
 特ニ帝國内ノ郵便制度ヲ書一ニシタルノミナラス隣國ト契約シテ郵
 便ヲ聯絡セリ畢竟千八百七十八年ノ萬國郵便同盟ハ獨逸國ノ刺衝シ
 タル所ニシテ瑞西國伯爾府ニ本部ヲ置キ定期ニ會議ヲ開キ信書、葉カ
 キ、郵便物、物品見本、金子入信書及郵便爲替ヲ同盟國中ニ配達スルニ寄
 一ニシテ低廉ナル郵稅ヲ以スルニアリ又換金二國內ハ獨逸國內ト同
 一ナル郵稅ニテ書信、葉カキ、印行物及物品見本ヲ送達スルヲ得セシ

ル魯西亞及希臘ヲ除クノ外歐洲各國内ハ小荷物郵便ニ關スル同盟ヲ
 モ結ヒスリ萬國電信同盟モ亦右ノ方法ニ從ヒテ締結シタリ
 郵便及電信ノ事務ヲ管理スル獨逸國ノ最高衙門ハ帝國驛遞院ニシテ
 驛遞總監之ヲ總理シ帝國大宰相其責任ヲ帶フ本院ヲ分ツテ郵便電信
 及郵電事務ノ三部トス驛遞總監ノ下ニ驛遞大監ヲ置キ驛遞監督局ノ
 長官トナシ郵便監督及電信監督ノ事務ヲ管視ス直接ニ郵便及電信事
 務ヲ執ルモノハ一等ヨリ三等ニ至ル郵便局及郵便取扱所トス稍ヤ大
 ナル市府ニハ特ニ電信局ヲ置ク
 郵便ノ特權ハ從前ニ比スレハ大ニ減縮セシメ唯封鎖シタル信書及每
 週二回以上發兌スル政事新聞ヲシテ郵便局若クハ郵便取扱所ノ設
 ル土地ト土地トノ間ニ郵便ニ依ラスシテ他ニ賃銀ヲ拂フテ送達スル
 一ヲ得セシメサルノニ鐵道瀛車ハ其發着ノ可及的郵便物發着ノ都合
 ニ從ヒテ定メ毎行十基以内ノ郵便物ヲ無賃ニテ輸送スルノ義務アリ
 若シ十基ヲ超ユレハ相當ノ賃銀ヲ得ヘシ郵便物ノ損傷セル場合ニ於

テハ郵便局ニ於テ普通郵便物ナレハ半基毎ニ三馬克寄留郵便物ナレ
 ハ全上四十二馬克以内ノ賠償ヲナス六ヶ月ヲ經過スレハ經時効ヲ得
 ルモノトス聯邦諸國ニ行ハレタル種々ノ郵便免稅ハ總テ廢止シ唯
 次ノ三條ニ止メタリ

- (一) 諸國ノ君主、君主、夫人及君主ノ寡婦ノ郵便物
- (二) 純然タル帝國ノ政務及國會ニ關スル郵便物
- (三) 軍人ノ普通信書(軍人ニ宛テタル郵便爲替十五馬克以下ハ十片三
 基以内ノ小荷物郵便ハ二十片ノ送達料ヲ受領ス)

聯邦諸國ノ官衙ハ郵便局ト契約シテ逐一其郵便物ニ郵便印紙ヲ粘用
 セス見積代價ヲ以テ之ヲ仕拂フヲ得ル全國内普通書信一通ノ重量
 ハ拾五瓦ニシテ郵稅拾片、拾五瓦以上二百五十瓦以下ハ之レニ倍ス書
 留手數料ハ別ニ貳拾片ヲ徵ス印刷物ハ五十瓦以下三片、五十瓦以上二
 百五十瓦以下十片、二百五十瓦以上五百瓦以下二拾片、五百瓦以上一基
 以下三十片物品見本ハ二百五十瓦以下ニ限リ其郵稅拾片小荷物郵便

ハ五基以下ニ限リ拾與地里以内二十五片以外ハ五拾片金子入替狀ハ普通郵税ノ外三百馬克毎ニ五片ノ保險料ヲ收ム郵便爲替料ハ百馬克以内ハ二十片百馬克以上二百馬克以下三十片二百馬克以上四百馬克以下四十片ナリ

電信ハ郵便ニ比スレハ其制度ヲ設ケタルノ日猶ホ淺ト雖ヒ迅速ナル進歩ヲナシ今ヤ郵便ト伯仲ノ位地ヲ占ム語數ヲ以テ通信料ヲ定ム電信税ニ代用スルニ郵便印紙ヲ以テスルヲ得

千八百八十四年ノ調査ニ依ルニ獨逸國ノ電信線ノ延長里數ハ地上電信五万九千四百四十二キロメートル地下電信五千六百十六キロメートル筒中電信五十二キロメートルニテ總計六萬五千百十キロメートルナリシカ近年電氣ノ學術速カニ進歩シタルカ爲メニ大ニ地下電信ト電話機トノ數ヲ増加セリト謂フ地下電信ハ風雨電雷ノ害ヲ受クルヲ寡ナキヲ以テ緊要ナル市場炮臺及海岸ノ要所等ハ悉ク地下電信ヲ用ニ電話機ハ電話局ニ於テ之ヲ取扱フモノニシテ又帝國政府ニ

屬シ或ハ其委託ヲ受ケテ設置スルモノトス電話機ハ費用ヲ要スルト多カラスシテ特ニ技術者ヲ養成スルヲ要セサルノ便アルヲ以テ主トシテ短距離ノ通信ニ供スレハ漸次ニ改良ヲ加ヘテ之ヲ遠距離ニ使用セントス現ニ獨逸國ニ設立シタル電話局ハ一千百二十六局ノ多キニ達シタリ

以上獨逸國特ニ學國ノ制度ニシテ尙モ農工商ニ關係アルモノ、大綱ニ過キサルモ亦以テ獨逸政府施政ノ方針ヲ知ルニ足ルヘシ其細目ノ如キハ特ニ各個ノ法律規則ニ就テ之ヲ詳悉スルヲ得ヘシ抑々法律ノ嚴ナルカ如クコシテ實行ノ緩ナル者アリ緩ナルニ似テ嚴ナルモノアリ其緩急加減ハ實際ニ徴シテ發明シ得タルモノナキニアラス此等ハ後日下問ニ應シテ陳述スル所アラントス

李國諸統計表

人口ト戸數ノ統計 (千八百八十年)

マ印ハ馬克 キ印ハキログラム

家屋	戸數	總數	外國人	常備軍	獨逸人民
311,307	57,448	27,792	9,858	25,207	2,695

家屋締計一覽

有稅	無稅	合計
四步稅	二步稅	無稅家屋
3,493	5,930	38,456
家屋稅	家屋稅	四步稅
二步稅	二步稅	二步稅
3,863	3,863	2,278
年額	年額	年額
3,493	5,930	2,278

土地一覽表

有稅地	無稅地	無生產地	中庭總數	地租又純益金
1,453,336	2,114,411	8,283	5,642	3,752,264
陸鐵道等	水等	河	地租又純益金	3,752,264
78,187	3,389	3,389	3,752,264	3,752,264

山林一覽表 (千八百八十一年)

總面積	官林	邑村	學校病院等ノ	共有林	私有林
8,111,111	1,111,111	9,832,767	2,111,759	1,700,631	1,101,126

各種農用地統計表 (千八百七十八年)

圃	園	株	場	牧	場	葡	萄	園
1,741,558	3,378,677	3,378,677	3,378,677	3,378,677	3,378,677	3,378,677	3,378,677	3,378,677

要川食料一(ヘクタル)ノ平均收穫一覽表

小麥	大麥	燕麥	馬鈴薯
1,879	1,879	1,879	1,879

全上一人ノ配當額一覽表

千八百七十九年	千八百八十年	千八百八十一年
1,879	1,879	1,879

家畜現在統計表 (千八百八十三年)

千八百八十三年	千八百八十三年	千八百八十三年	千八百八十三年	千八百八十三年	千八百八十三年	千八百八十三年	千八百八十三年	千八百八十三年	千八百八十三年
有家畜所數	馬	騾	驢	牛	綿羊	豚	山羊	蜜蜂	
三二,四〇四	二四〇,三三五	五七二	六三三	八七三,五八九	一四七,一六七〇	五八〇,一七九五	一六七,三六八	一三三,三三三	
二九七,七五三	二二八,二四二	九三四	八七八	八六三,九五二	一九六,六七九	四二九,四九二	一四八,一四六	一四五,九四一	

家畜ト獸醫ノ比例一覽表 (千八百八十年)

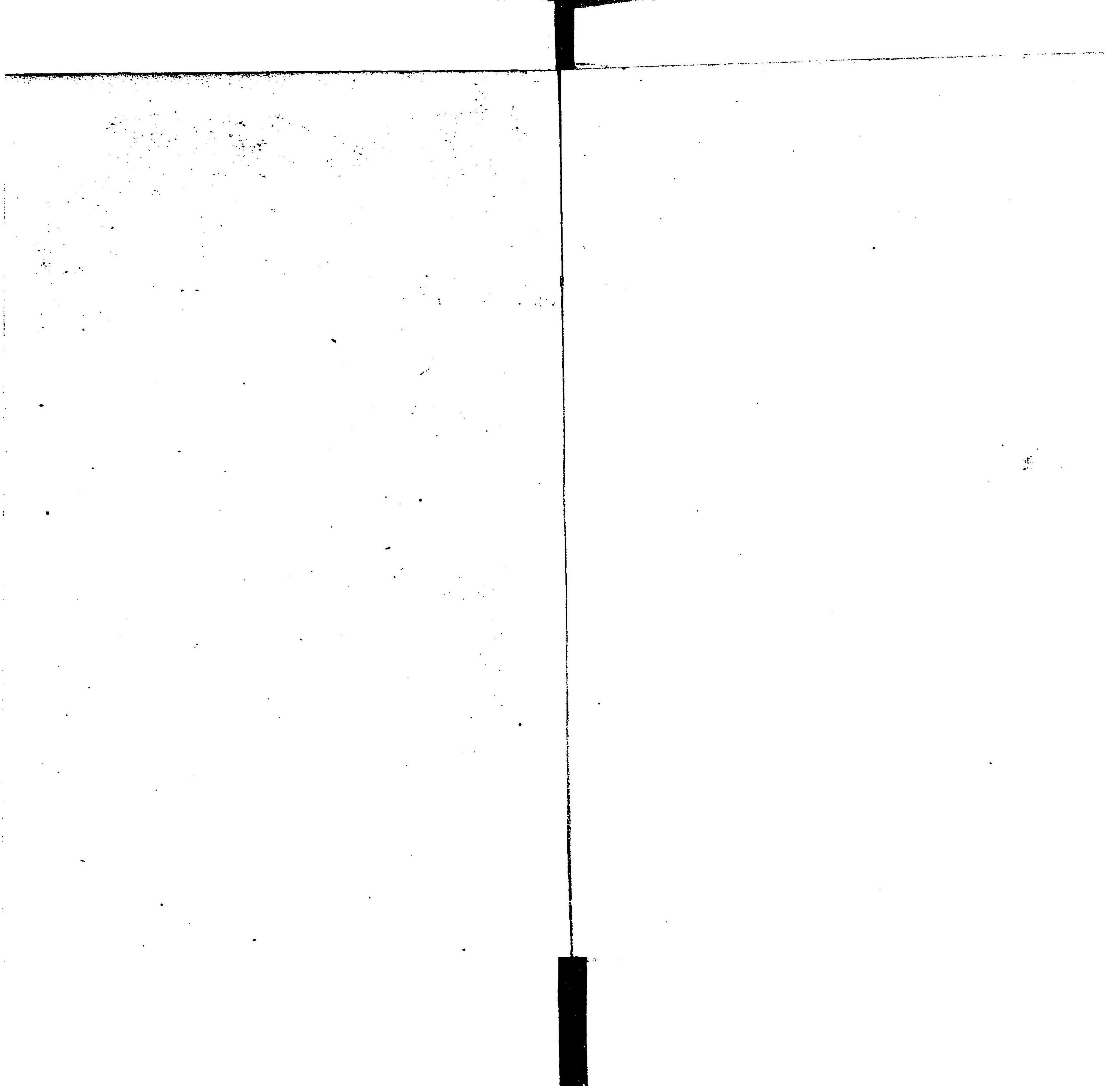
馬	牛	獸醫ノ總數	獸醫居住ノ場所	獸醫一名ニ對スル牛馬ノ頭數
二七,四五四	八三,四九六	一六四	九九八	一三六
				五〇九

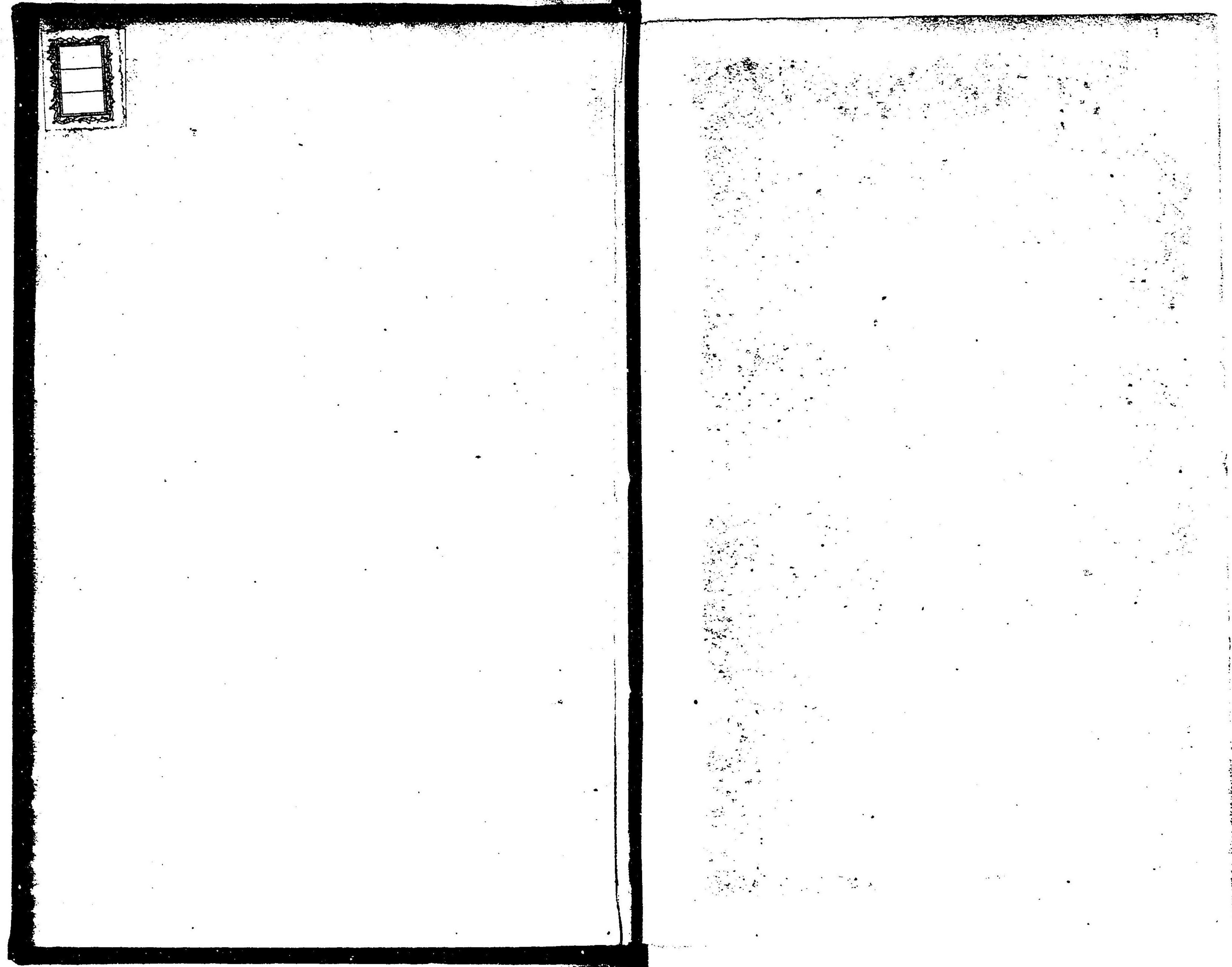
字國農務官有地兼山林事務省千八百八十六乃至七年度歲計豫算表

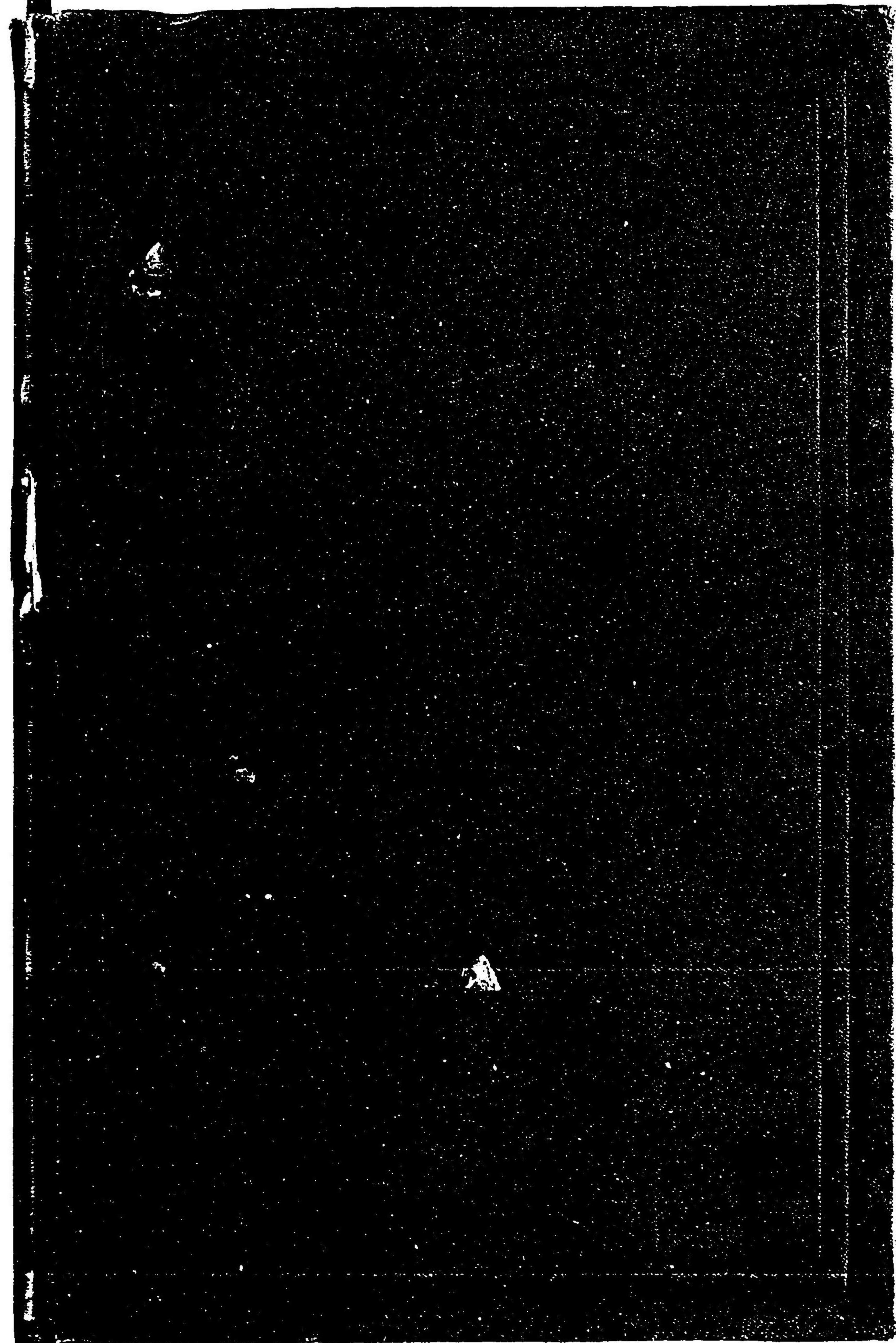
支 出	通 常 經 費					中 央 廳 費	合 計	臨 時 費
	俸 給	役 宅 料 補 助	賞 與、扶 助、手 當 金 等	消 耗 費、修 繕 費、雜 費				
本省政務	242400,00	34080,00	44350,00	96350,00			417180,00	
上等農業裁判所	96900,00	15600,00	17600,00	1405,00			137505,00	
土地分合事務	1440892,50	219215,00	1403256,00	1439999,00			4503356,50	
農學校、試驗場等	169825,00	16428,00	98005,00	704409,00			988667,00	
獸醫學校及獸醫	81280,00	6192,00	25625,00	148202,00			261299,00	
家畜衛生事務	297991,70	2960,00	59300,00	134785,00			496036,70	
牧畜獎勵費				129440,00			229438,00	
漁業獎勵費	52800,00	4908,00	42290,00	826029,92			933437,80	
開墾堤防事務等	65054,00	10800,00	31553,88				504400,00	952200,00
農會補助、農業警察等						935145,00	4043143,00	230570,00
產馬事務	239515,00	2304,00	698323,95	2167852,05				
						施 業 費		
						17649,265,00	28100440,00	2450000,00
山林事務	6232838,00	105560,00	4112777,00	188470,00			188470,00	
山林學校	72400,00	5220,00	36350,00					
						官有地ノ費用及負擔		
						9316266,00	7687520,00	716396,00
官有地事務	459144,00	20360,00	431550,00				2773290,00	
普通費								
収 入	山 林	官 有 地	產 馬 所	本 省	總 計	合 計	41,312,600,00	4349161,00
	56070000,00	29989320,00	2057320,00	2037736,00		90154376,00		41,312,600,00
				収 支 差 引		45661766,00	總 計	45,661,766,00
				殘 額 獨 貨		44,492,610,馬克		

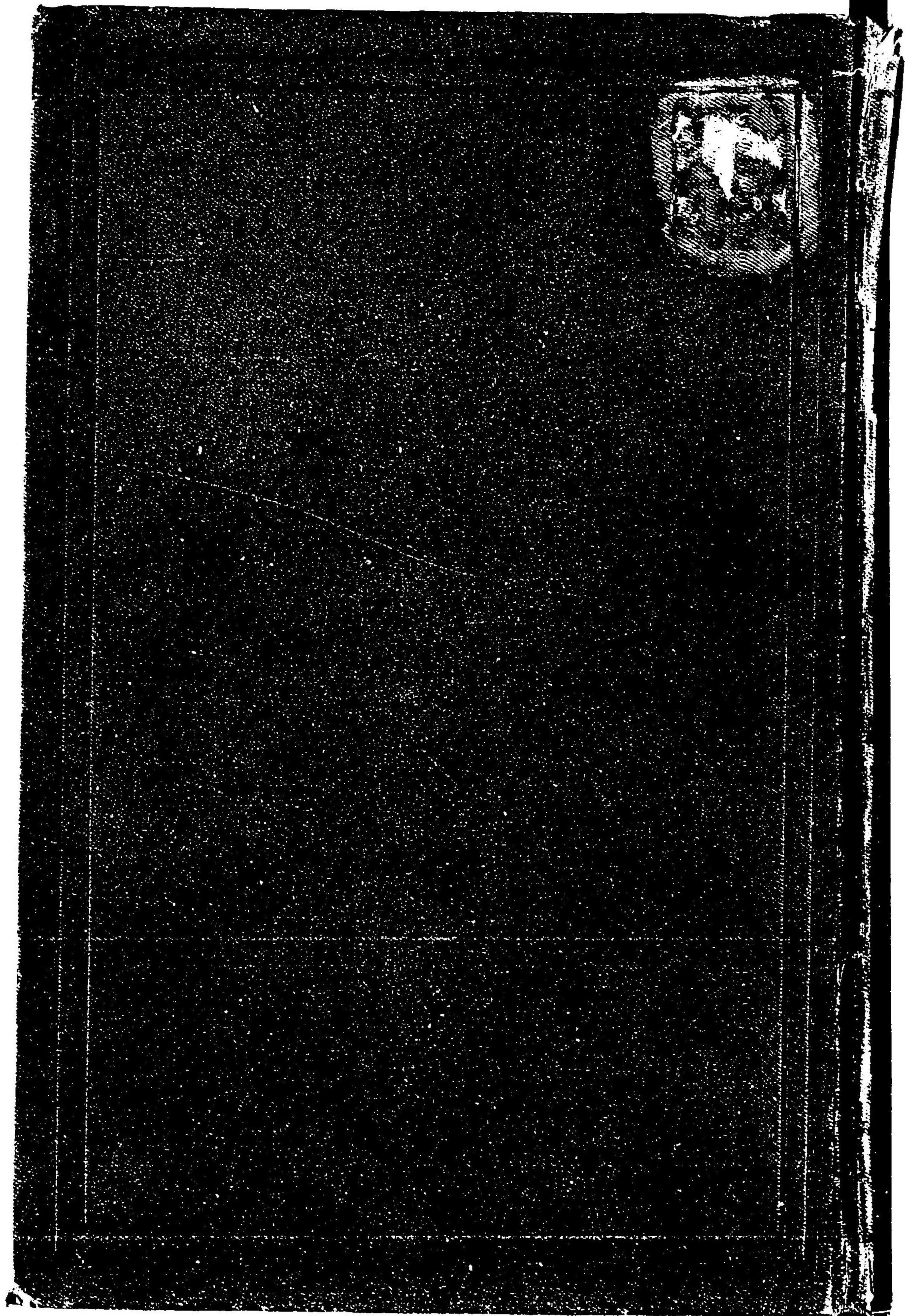
明治二十一年二月廿日出版

版權所有 農 商 務 省











77
67

